

目 次

目 次	1
I. 2013（平成25）年度の主な活動	3
*2013（平成25）年度入館者一覧	4
II. 資料の収集・利用	5
II-1 資料の収集	5
1) 受 贈	5
2) 寄 託	5
II-2 資料の利用	6
1) 貸 与	6
2) その他	6
III. 展示活動	7
III-1 総合展示	7
1) 〈京の歴史〉ゾーン	7
2) 〈京のまつり〉ゾーン	9
3) 〈京の至宝と文化〉ゾーン	13
4) 3階・4階展示室	23
III-2 特別展示	26
1) 共催展等	26
*2013（平成25）年度特別展一覧	33
2) 京都府民ギャラリー事業への協力	33
III-3 映 画	34
1) 常設上映	34
2) 特別企画・共催事業	35
3) 映像ギャラリー常設展示	39
4) 京都府映像文化センター運営委員	39
III-4 その他	40
IV. 調査研究活動	41
IV-1 学芸員の活動	41
1) 研 究	41
2) 出講・委嘱	41
3) 業 績	42
V. 普及活動	44
V-1 出版物	44
1) 研究紀要『朱雀』	44
2) 年 報	44
3) 展覧会図録	44
V-2 主催事業・イベント	45
1) 展覧会関連イベント	45
2) その他イベント	46

V-3	学習普及活動	47
1)	ボランティア	47
2)	「ぶんぱく子ども教室」事業	47
3)	団体見学案内	50
V-4	博物館実習	51
V-5	資料・情報公開	51
1)	資料閲覧室	51
2)	ホームページによる広報とコンテンツの提供	51
V-6	外部連携活動	52
1)	他館との連携	52
2)	地域との連携	53
V-7	京都文化博物館友の会	53
1)	会 員	53
2)	事業概要	54
VI.	ギャラリー事業	55
VI-1	5・6階展示室	55
1)	京都文化財団展示室運営委員会	55
2)	美術・工芸作家の利用	55
3)	生涯学習的発表期間の利用	56
4)	一般の利用	57
VI-2	別館ホール	58
VII.	管理・運営	60
VII-1	組織と職員	60
1)	組 織	60
2)	京都文化財団	60
3)	京都文化博物館	61
VII-2	施 設	62
1)	本館関係	62
2)	別館関係	62
VII-3	館内店舗	65
1)	ろうじ店舗	65
2)	別館店舗一覧	65
3)	博和会・ろうじ行事	65
VIII.	2013（平成25）年度のあゆみ	66

※本文および表中の敬称は、一部略させていただいた。

I 2013(平成25)年度の 主な活動

2013年は、1988(昭和63)年10月に京都府京都文化博物館が開館してから25年目に当たる。特別展はもちろんのこと、規模の大きな総合展を3・4階で展開するなど、一年を通して多彩な展示を行った。特に、開館25周年記念展覧会として9～12月に「京都・美のタイムカプセル」を行ったことは特筆したい。これは京都府が所蔵する約5万点の作品・資料から主要なものを一挙に紹介するもので、来館者や関係者から「京都府の所蔵品の奥深さや幅広さを実感した」との感想がよせられるなど、25年を振り返るのにふさわしい展覧会となった。また、2015(平成27)年に京都国際現代芸術祭が開催を予定されていることから、1・2月に開催した京都府美術工芸新鋭展に「京都国際現代芸術祭への道」とサブタイトルを付け、特別展示として別館にヤノベケンジ氏の巨大作品「Sun Sister」を展示し、話題を集めた。

このほか、10万人以上の来館者があった「インカ帝国展—マチュピチュ『発見』100年」、東日本大震災復興の願いをこめた「2013年NHK大河ドラマ特別展 八重の桜」、会期が進むにつれ感動の輪が広がっていった「生誕100年 佐藤太清展」、ユネスコ記憶遺産に登録されたばかりの御堂関白記などが展示された総合展示「近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝3」など、充実した展示が実現した。2014年3月に開会した「光の賛歌 印象派展」については、2013年度中の開催期間は18日間であったにも関わらず、この期間だけで約6万人の入場者を記録するなど、まれに見る好スタートを切った。(最終的に同展の入場者は310,219人。)

フィルムシアターについては、「第1回京都映像フォーラム」や「大島渚監督一周忌・追悼イベント」が開催されるなど、京都映画の殿堂としての活動を進めた。

2013年度特別展の総入場者数は、247,330人、総合展の入場者数は110,038人であり、貸ギャラリー、ろうじ店舗の入場者も含めた総入場者数は760,554人であった。



「京都・美のタイムカプセル」展 会場風景



ヤノベケンジ「Sun Sister」展示風景

*2013(平成25)年度入館者一覧

年 月	総合展			特別展			計			ギャラリー				ろうじ 店舗	総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計		
2013.4	1,721	2,744	4,465 【11,127】	10,863	4,422	15,285	12,584	7,166	19,750	2,637	3,990	1,933	8,560	11,250	39,560
5	1,830	2,784	4,614 【21,545】	30,760	10,494	41,254	32,590	13,278	45,868	5,395	2,390	3,748	11,533	16,795	74,196
6	2,524	3,262	5,786 【20,053】	31,802	12,881	44,683	34,326	16,143	50,469	2,726	1,660	3,480	7,866	16,465	74,800
7	0	9,966	9,966 【13,406】	9,530	4,692	14,222	9,530	14,658	24,188	5,894	1,712	8,710	16,316	12,174	52,678
8	0	12,457	12,457 【20,805】	28,268	13,855	42,123	28,268	26,312	54,580	1,735	4,137	2,880	8,752	16,636	79,968
9	6,147	5,321	11,468 【12,196】	1,752	1,087	2,839	7,899	6,408	14,307	7,008	2,931	33,771	43,710	9,390	67,407
10	6,751	6,267	13,018 【13,018】	0	0	0	6,751	6,267	13,018	4,942	10,568	6,763	22,273	9,477	44,768
11	4,122	7,004	11,126 【11,126】	0	0	0	4,122	7,004	11,126	4,224	8,156	16,121	28,501	9,477	49,104
12	2,354	3,802	6,156 【6,156】	0	0	0	2,354	3,802	6,156	4,930	3,852	7,770	16,552	7,558	30,266
2014.1	8,131	5,359	13,490 【15,193】	772	7,554	8,326	8,903	12,913	21,816	674	6,893	3,780	11,347	8,287	41,450
2	7,385	4,552	11,937 【14,324】	1,493	17,134	18,627	8,878	21,686	30,564	2,953	5,572	6,607	15,132	12,636	58,332
3	2,194	3,361	5,555 【24,445】	48,436	11,535	59,971	50,630	14,896	65,526	4,275	5,712	53,068	63,055	19,444	148,025
年度計	43,159	66,879	110,038 【183,394】	163,676	83,654	247,330	206,835	150,533	357,368	47,393	57,573	148,631	253,597	149,589	760,554
1日平均	140	217	357	1,186	606	1,792	672	489	1,160						

【 】内は特別展からの入場者数を含む

Ⅱ 資料の収集・利用

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つを館蔵資料、もう一つを管理資料と呼ぶ。館蔵資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料が中心で、他に若干の絵画資料や歴史資料など、限られた範囲のものである。一方、管理資料は、京都府立総合資料館所蔵資料のうち、当館が管理をする美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料(博物館資料)をいう。これらの資料については、当館の設立以来、その収集、管理、展示公開業務を総合資料館から委託されており、具体的には同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館で行うとともに、収集、利用等についても、その業務を当館で行っている。なお、2013年度末での管理資料は51,793点、寄託資料が636点、一時保管資料が715点であった。

Ⅱ - 1 資料の収集

1) 受 贈

【管理資料】

分野	作者	資料名	点数	
日本画	案本一洋	「午下り」ほか	11	
染 織		菊・蝶・破小垣文板締下着(菱繋ぎ小紋)ほか	84	
染 織	宮崎芳郎	「積心」ほか	4	
染 織	澁谷和子	「すみれ」ほか	5	
染 織	伊砂利彦	「伊根の舟小屋」ほか	3	
染 織	伊砂利彦	「松 一月待ちー」	3	
漆 芸	栗本夏樹	「太古の出来事B」ほか	692	
日本画	池 大雅	「墨竹図」ほか	55	
染 織	坂井 修	「みぎわ」	1	
陶 芸	竹中 浩	「染付椿文水滴」ほか	4	
陶 芸	市川博一	「風」ほか	2	
日本画	江村春甫	「伏見九郷図屏風」ほか	2	
				小計 866点

2) 寄 託

種 別	分野	件点数	分野	件点数	分野	件点数	分野	件点数	分野	件点数	小 計
館蔵資料	日本画	5件 5点	古文書	21件 22点	典 籍	20件 233点	絵 図	17件 19点	複製模本	1件 1点	85件 795点
	貴重遺物	14件 501点	一般遺物	2件 6点	複製模型	3件 3点	参考資料	1件 1点	歴 史	1件 1点	
管理資料	日本画	7件 22点	陶 器	1件 89点	民 俗	3件 221点	武 具	1件 4点	染 織	2件 675点	14件 1011点

II - 2 資料の利用

1) 貸 与

【館蔵資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
考古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2	向日市文化資料館	常設展示
考古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2	吹田市博物館	常設展示
歴史	甲子兵燹図	2	東京都江戸東京博物館、福島県立博物館、NHK視聴者事業局、NHKプロモーション	特別展「八重の桜」
考古	焼瓦	17	東京都江戸東京博物館、福島県立博物館、NHK視聴者事業局、NHKプロモーション	特別展「八重の桜」
歴史	秋の日照	1	東京都江戸東京博物館、福島県立博物館、NHK視聴者事業局、NHKプロモーション	特別展「八重の桜」
歴史	誓願寺門前図屏風	1	鳥根県立美術館	特別展「出雲阿国展—初期歌舞伎図から寛文美人まで」
考古	平安京西寺跡出土軒丸瓦	1	公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター	特別展「第28回小さな展覧会—平成24年度京都府内遺跡発掘調査成果速報—」
考古	平安京西寺跡出土「西寺」銘文字瓦	3	公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター	特別展「第28回小さな展覧会—平成24年度京都府内遺跡発掘調査成果速報—」
考古	平安京左京六条二坊六町出土 象嵌青磁片	1	高麗美術館	企画展「朝鮮文化と京都」
考古	平安京左京五条二坊十六町出土 白磁皿	2	高麗美術館	企画展「朝鮮文化と京都」
歴史	位記(菊亭家文書)	1	国立歴史民俗博物館	企画展「中世の古文書—機能と形—」
考古	平安京西寺跡出土軒丸瓦	1	京都府立山城郷土資料館	企画展「京都発掘だより2013」
考古	平安京西寺跡出土「西寺」銘文字瓦	3	京都府立山城郷土資料館	企画展「京都発掘だより2013」

【管理資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
日本画	森寛斎「京都名所四季図」ほか	5	江戸東京博物館ほか	NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」
日本画	関根勢之助「03—絵画—或いは戦いの日々」	1	京都市立芸術大学	「絵画或いは戦いの日々 関根勢之助1923—2003」展
日本画	三島上龍「観桜美人図」ほか	20	南丹市立文化博物館	特別展「日本画こころの京都」展
日本画	三島上龍「納涼美人図」ほか	10	福知山市	特別展「日本画こころの京都」春期展
日本画	狩野永敬「十二月歌意図屏風」ほか	2	鳥根県立石見美術館	特別展「和歌と美術展」
日本画	岸勝「幽霊図」	1	横須賀美術館	特別展「日本の「妖怪」を追い！」
陶芸	五代清水六兵衛「大礼磁唐草文花瓶」	1	内閣府迎賓館京都事務所	天皇皇后両陛下への公開
日本画	桑野博利「風景(磯風)」ほか	2	倉吉博物館	特別展「生誕100年 桑野博利展」
郷土玩具	祇園祭の長刀鉾ほか	16	長浜市曳山博物館	企画展「曳山模型と図面勢ぞろい展」
日本画	(伝)原在中「白絵松鶴図屏風」ほか	2	和泉市久保記念美術館	特別展「淡彩画—ひとつの色の多彩な世界—」
陶芸	五代清水六兵衛「青華官女図花瓶」ほか	2	京都国立博物館	特別展「魅惑の清朝陶磁展」
日本画	北沢映月「二面象」ほか	6	京都府立堂本印象美術館	企画展「女流作家の描いた昭和のエレガンス」
日本画	金島桂華「南瓜とトマト」ほか	6	福知山市佐藤太清記念館	特別展「日本画 こころの京都」
郷土玩具	天神人形(三次人形)ほか	21	長浜市曳山博物館	特別展「人々の救い 天神信仰—菅原伝授手習鑑—」
日本画	北野治男「丹頂」	1	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇
日本画	西山英雄 司馬遼太郎著「播磨灘物語」装画	83	姫路文学館	特別展「司馬遼太郎・西山英雄装画『播磨灘物語』展官兵衛の世界を描く」
日本画	西川祐信「衣通娘図」ほか	3	江戸東京博物館ほか	特別展「国際浮世絵学会創立50周年記念展 大浮世絵展」
金工	斎田梅亭「戴金交文飾篭」	1	京都国立博物館	日本伝統工芸60周年記念「人間国宝展—生み出された美、伝えゆくわぎ—」
陶芸	五代清水六兵衛「青華官女図花瓶」ほか	2	長崎歴史文化博物館ほか	特別展「魅惑の清朝陶磁展」
日本画	上村淳之「鴛鴦」	1	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇
漆芸	下出祐太郎 漆屏風「爛漫」	1	下出祐太郎	「紫の縁 源氏物語の世界」
陶芸	八代清水六兵衛「SPACE RECEPTOR-92」	1	中信美術館	「第26回京都市美術文化賞受賞記念展」
染織	浅葱縮緬地野馬模様振袖(小裁)ほか	2	板橋区立郷土資料館	特別展「板橋と馬」
日本画	「見立女三宮図」	1	渋谷区立松濤美術館	特別展「ねこ・猫・ネコ」
日本画	大森善清「遊女と禿図」ほか	7	大阪歴史博物館ほか	特別展「上方の浮世絵—大坂・京都の粋と技」
陶芸	叶道夫「そよかぜ」	1	叶道夫	叶道夫退任記念展
日本画	岩澤重夫「北山春霞」	1	水野美術館ほか	「(仮称)近代日本画にみるさくら」
日本画	大塚明「早春譜(寒牡丹)」	1	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇
日本画	磯田又一郎「祇園春宵」ほか	41	京都府立堂本印象美術館	「40人の作家による 京のうつろい—春から夏へ—」

2) その他

特別撮影・利用・特別観覧

館蔵資料：撮影・利用 43件 特別観覧 11件 / 管理資料：撮影・利用 29件 42点 特別観覧 16件 256点

寄託資料—時持ち出し・貸与

寄託資料—時持ち出し・貸与					
	分野	資料名	点数	申請者	使用目的
館蔵資料	考古	デンマーク石器コレクション	21	古代学協会	研究
管理資料	民俗	緋精好御袴ほか	2	鞍馬火祭保存会	祭礼
	民俗	大船鉾用具 神功皇后御天冠ほか	101	四条町大船鉾保存会	祭礼

Ⅲ 展示活動

Ⅲ - 1 総合展示

当館の「総合展示」は、リニューアル前の「常設展示」に替わって設けられた。いつ来館しても、同じテーマや内容に添った展示品を見ることが出来るという従来のいわゆる常設展示は、展示面積を縮小し、〈京の歴史〉ゾーンに集約された。そして、〈京の歴史〉ゾーンだけでは十分に語りきれないテーマやこぼれ落ちている内容などについての企画展示が、従来の「特別陳列コーナー」を一新し、且つ展示面積の大幅な拡張の上に、実施されることとなった。

企画展示は、祇園祭など京の祭礼行事を紹介する〈京のまつり〉ゾーン、京都の歴史や文化にかかわる名品類を中心とした〈京の至宝と文化〉ゾーン、そして展示内容やボリュームによって3階展示室も柔軟に利用しながら、それぞれ1ヶ月半～3ヶ月程度の期間で次々と展示内容を変え、実施されている。

「総合展示」の展示品は、館蔵資料、管理資料、寄託資料のほか、他の博物館や美術館などが所蔵している貴重な資料(国宝や重要文化財含む)であり、展示品数や規模は小さいものの、いわゆる特別展示の構成と変わらない。リニューアル後、大きな力点がおかれることになったのが「総合展示」であり、多様且つ奥深い京都文化をできるだけ総合的に紹介できるように試みられている。

1) 〈京の歴史〉ゾーン

本エリアは、平安京の成立から近代都市として脱皮を遂げた明治・大正期までの京の歴史を概観する展示である。展示構成としては、平安時代から江戸時代における都市・京都の姿を描いた絵画資料を用い、大画面でその様子を伝える「絵巻回廊」、通史的な都市形態の変遷をCGで叙述した「京のかたち」、時代ごとの政治的・文化史的な要素を豊富なグラフィックで紹介しながら実物資料を配置する各展示ケースで構成される。狭

小な展示スペースながら、隣接する「京のまつり」「京の至宝と文化」の各ゾーンで展開する展示活動の歴史的な核となるよう運用を行っている。



〈京の歴史〉ゾーン



「絵巻回廊」

【〈京の歴史ゾーン〉展示資料一覧】

	コーナー名	No.	資料名	員数	所蔵
	イントロダクション	1	平安時代の軒丸瓦 平安京跡出土	3点	<*>
デジタル資料	絵巻回廊	2	駒競行幸絵巻	1点	和泉市久保惣美術館
		3	一遍上人絵伝	1点	東京国立博物館
		4	洛中洛外図屏風 歴博甲本	1点	国立歴史民俗博物館
		5	洛中洛外図屏風 歴博F本	1点	国立歴史民俗博物館
		6	古写真 八坂神社から見る四条通	1点	国際日本文化研究センター
	7	古写真 新京極の風景 昭和初期	1点	京都府立総合資料館	
	8	古写真 円山公園 明治末～大正期	1点	京都府立総合資料館	
	9	古写真 平安神宮地鎮祭余興 明治29年	1点	平安神宮	
	10	古写真 四条寺町をまがる船鉾	1点	京都府立総合資料館	
	11	古写真 大丸前を巡行する長刀鉾 大正2年頃	1点	京都府立総合資料館	
	12	動画 祇園祭風景 大正期	1点	大阪芸術大学映像復元プロジェクト	
	13	動画 時代祭風景 昭和8年	1点	<*>	
	14	古写真 三代事業起工式 明治41年	1点	京都市上下水道局	
	15	古写真 疎水舟だまり風景 明治25年	1点	京都市上下水道局	
	16	古写真 東丸太町での水道管敷設 明治43年	1点	京都市上下水道局	
	17	古写真 四条烏丸を走る市電 大正初期	1点	京都府立総合資料館	
	18	古写真 ウィーン万国博覧会 日本参加団集合写真 明治7年	1点	有田町歴史民俗資料館	
	19	古写真 柳池小学校 明治20年頃	1点	京都府立総合資料館	
	20	古写真 英学校及び女紅場	1点	京都府立総合資料館	
	21	古写真 絵画専門学校授業風景 明治42年	1点	京都市立芸術大学 芸術資料館	
	22	古写真 京都帝国大学	1点	京都府立総合資料館	
	23	古写真 同志社大学クラーク記念館	1点	同志社社史資料センター	
	24	動画 京都駅など町並み 昭和5年頃	1点	<*>	
	25	古写真 朱雀二条商店街の盛況 昭和35年頃	1点	世界人権問題研究センター	
		京のかたち	26	京都文化博物館近辺の土層はぎとり標本	1点
平安京の造営	27	磚(敷瓦) 西賀茂瓦窯跡出土	18点	<*>	
	28	鬼瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	2点	<*>	
	29	緑釉軒瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	5点	<*>	
平安貴族のくらしと文化	30	池亭記(複製資料)	1巻	<*>	
	31	土器 雲林院跡出土	37点	<*>	
	32	緑釉陶器耳皿 雲林院跡出土	1点	<*>	
	33	中国製青磁碗 雲林院跡出土	1点	<*>	
	34	中国製白磁碗 雲林院跡出土	1点	<*>	
中世都市民の生活	35	常滑大甕 平安京左京五条三坊十五町跡出土	1点	<*>	
	36	備前大甕 平安京左京三条三坊十一町跡出土	1点	<*>	
	37	中国製四耳壺 平安京左京八条三坊二町跡出土	1点	<*>	
	38	埋納銭 平安京左京八条三坊七町跡出土	一式	<*>	
	39	鑄造関連遺物(刀装具、仏具、鏡等) 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	<*>	
	40	中国製磁器 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	<*>	
近世町人のなりわい	41	金箔押瓦 聚楽第跡出土	4点	<*>	
	42	都名所図会	1点	<*>	
	43	つぼつぼ	9点	<*>	
	44	でんぼ	1組	個人	
	45	伏見人形 布袋	1点	<*>	
	46	伏見人形 饅頭喰い	2点	<*>	
	47	鏡師工房関連遺物 京都市下京区坂東屋町出土	一式	<*>	
	48	柄鏡	1点	<*>	

※所蔵欄 <*>印の資料は京都府立総合資料館蔵(当館管理)、<*>印の資料は当館蔵

2) 〈京のまつり〉ゾーン

① 祇園祭一鈴鹿山の名宝一

会 期：2013年4月18日(木)～6月30日(日)

前期展示＝4月18日(木)～5月26日(日)

後期展示＝5月29日(水)～6月30日(日)

概 要：「鈴鹿権現の伝説を題材とした

女性神像を祀る山」

鈴鹿山は、応仁の乱(1467)がおこる以前の記録にもその名が見える、祇園祭の山鉾の中でも特に古い歴史をもつ山。百仙人図と称される前懸と胴懸は、それぞれに享保13年(1728)にしつらえられたとされ、町内で特に大切に伝えられてきた由緒ある懸装品。また中国官服を直した雲龍文綴の見送には文化13年(1816)の銘がみられる。そして、鈴鹿山の御

神体である鈴鹿権現の被る御神面二面のうち一面には、その箱書に天和3年(1683)との年号が記されており、いずれも幕末の戦災をくぐりぬけてきた歴史のある品々。また、明治になって復興を果たした鈴鹿山には、二代目川島甚兵衛の手による牡丹鳳凰文様の見送や、山鹿清華が下絵を描いた欄縁金具など、当代一級の職人や芸術家たちが手掛けた美しい装飾品が添えられている。展示ではこうした由緒ある品々を紹介した。

出品資料数：25点

担当者：橋本 章

【「祇園祭一鈴鹿山の名宝一」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時 代	文化財指定
1	御神面	天和3年(1683)箱書	重要有形民俗文化財
2	御神体衣装 萌葱地草花立湧文様縹珍小袖	明治時代	重要有形民俗文化財
3	御神体衣装 紫地巴木竊立涌文様金欄小袖	明治時代	重要有形民俗文化財
4	御神体衣装 金烏帽子	明治4年(1871)	重要有形民俗文化財
5	御神体衣装 鬘帯 紅地木窠唐草文繡	明治時代	重要有形民俗文化財
6	中啓 金地梅竹図 土佐光時画	寛政8年(1796)	重要有形民俗文化財
7	末広 梅若松図	元禄16年(1703)箱書	重要有形民俗文化財
8	中啓 金地鹿図 山元春舉画	明治39年(1906)	重要有形民俗文化財
9	太刀 木窠文螺鈿鎗劔 月山貞勝作	昭和6年(1931)	重要有形民俗文化財
10	刀掛 木製螺鈿梅唐草花菱七宝繫文	文化5年(1808)	
11	前懸 五裂継合せ綴織 百仙人図	享保13年(1728)	重要有形民俗文化財
12	胴懸 四裂継合せ綴織 百仙人図	享保13年(1728)	重要有形民俗文化財
13	後懸 波濤に鳥刺繡補子胸背裂	宝暦12年(1762)	重要有形民俗文化財
14	後懸 紋章に華唐草文様 インド更紗	明治8年(1875)	重要有形民俗文化財
15	見送 牡丹鳳凰文様刺繡	明治35年(1902)	重要有形民俗文化財
16	見送 波濤に飛龍文様綴錦	文化13年(1816)	重要有形民俗文化財
17	欄縁 木製黒漆塗草花文様金具付	昭和16年(1941)	重要有形民俗文化財
18	角飾金具 鍍金波丸文様	昭和31年(1956)	重要有形民俗文化財
19	欄縁角金具	昭和16年(1941)	重要有形民俗文化財
20	欄縁飾金具下絵 山鹿清華画	昭和12年(1937)	
21	見送飾金具 飛雲鶴文様	明治時代	重要有形民俗文化財
22	見送金具「蘭花」	昭和57年(1982)	
23	神額 木製漆箔「鈴鹿山」 楨村正直書	明治12年(1879)	重要有形民俗文化財
24	神号軸「祇園牛頭天王」 近衛忠熙書	慶応2年(1866)	
25	扁額「瀬織津姫神」 富岡鉄斎書	明治時代	

② 祇園祭—山鉾巡行の歴史と文化—

会 期：2013年7月4日(木)～7月28日(日)

概 要：「山鉾巡行の歴史と文化をわかりやすく紹介」
祇園祭における山鉾の歴史や文化について、江戸時代の古記録なども展示しながら、その魅力を総合的に紹介してゆく展示。長刀鉾や月鉾など山鉾町やその周辺の町に伝来した模型をはじめ、『祇園御霊会細記』などの江戸時代の記録類、そしてかつて山鉾を飾っていた懸装品なども展示し、祇園祭の山鉾巡行の歴史と文化について総合的に紹介した展示。

出品資料数：10点

担当者：橋本 章



「山鉾巡行の歴史と文化」会場風景

【「祇園祭—山鉾巡行の歴史と文化—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	員数	文化財指定	所蔵
1	放下鉾後懸 朝鮮毛綴	室町～安土桃山時代	1枚	重要有形民俗文化財	公益財団法人放下鉾保存会
2	鶏鉾後懸 朝鮮毛綴	江戸時代前期	1枚	重要有形民俗文化財	公益財団法人鶏鉾保存会
3	後の祇園祭船鉾之図	昭和7年(1932)	1幅		公益財団法人四条町大船鉾保存会
4	『祇園御霊会細記』	宝暦7年(1757)	2冊		京都府立総合資料館(当館管理)
5	『都名所図会』	安永9年(1780)	6冊		京都府立総合資料館(当館管理)
6	『諸国年中行事大成』	文化3年(1806)	6冊		京都府立総合資料館(当館管理)
7	菊水鉾巡行模型	昭和46年(1971)	一式		京都府立総合資料館(当館管理)
8	長刀鉾模型	昭和時代	1台		当館
9	月鉾模型	明治時代	1台		当館
10	京都祇園祭山鉾絵図(西脇友一 画)	昭和60年(1985)	5枚		当館

③ 祇園祭—綾傘鉾の名宝—

会 期：2013年8月1日(木)～10月14日(月・祝)

前期展示：8月1日(木)～9月8日(日)

後期展示：9月11日(水)～10月14日(月・祝)

概 要：「棒振りと稚児の行列、

そして祇園祭山鉾の源流といわれる傘の鉾」
綾傘鉾は、祇園祭の山鉾のなかでもめずらしい傘鉾の形態をもつ鉾。この綾傘鉾は、元治元年(1864)の大火で罹災するが、現在も江戸時代の行列の際に用いられていた宝永5年(1708)作の「癒見」と「飛出」二枚の面や、傘の登頂に取り付けられていた享保12年(1727)作

の鶏の作り物、そして文政11年(1828)の墨書のある木箱に収められている飾り房などが残り、往時を偲ばせる。また、天保5年(1834)に曳き車をこしらえた際に装着されていた胴懸などが現存するほか、当時の様相を模した明治20年(1887)製作の綾傘鉾模型も伝え残されており、江戸時代後期の綾傘鉾の姿を伝える興味深い資料となっている。展示では、こうした綾傘鉾ゆかりの資料を公開した。

出品資料数：21点

担当者：橋本 章

【「祇園祭—綾傘鉾の名宝—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	文化財指定
1	木彫粉彩色癒見面 渡辺安右衛門作	宝永5年(1708)	京都市指定
2	木彫粉彩色飛出面 渡辺安右衛門作	宝永5年(1708)	京都市指定
3	御神面	江戸時代	
4	傘鉾	昭和～平成時代	
5	垂り 四季の花図 森口華弘作	昭和54年(1979)	
6	垂り 飛天の図	平成5年(1993)	
7	胴懸 黒緋羅紗継合せ縞に窠紋刺繍	江戸時代後期	京都市指定
8	緋羅紗天蓋飾り	江戸時代後期	京都市指定
9	飾り房	文政11年(1828)	京都市指定
10	鉾頭鶏 付、金御幣	享保12年(1727)	京都市指定
11	棒振り衣装	江戸時代後期	京都市指定
12	締太鼓衣装	江戸時代後期	京都市指定
13	締太鼓鼓面	明治25年(1892)	
14	鉦	明治16年(1883)	
15	采棒	明治時代	
16	『傘鉾再興二付 行荘規則書』	明治14年(1881)	附、京都市指定
17	『祇園囃子』	明治17年(1884)	附、京都市指定
18	綾傘鉾行列図炉隠屏風	天保5年(1834)	
19	牛頭天王掛軸	昭和時代	
20	綾傘鉾模型	明治20年(1887)	
21	綾傘鉾之図	昭和時代	

III-1 総合展示 ▶ 2)〈京のまつり〉ゾーン

④ 祇園祭—占出山の名宝—

会 期：2013年10月18日(金)～2014年1月5日(日)

前期展示：10月18日(金)～11月17日(日)

後期展示：11月20日(水)～1月5日(日)

概 要：「日本三景と三十六歌仙の懸装品に彩られた
“和の美”の山」

占出山は、神功皇后が肥前国松浦で釣りをし
て戦勝を占ったという故事にちなんだ御神体
を搭載し、安産の功德があるとされ、御礼に
納められた衣装が数多く所蔵されている。展
示では閑院宮御簾中が安永3年(1774)に寄進
した衣裳や、文政8年(1825)と天保元年
(1830)には二条殿姫君が寄進した小袖などを

展示した。また占出山の周囲を飾る懸装品に
は日本三景が描かれているが、これらは天保
2年(1831)新調されたもので、下絵を円山派
の絵師山口素絢の子素岳に依頼し、当時の綴
織の名手といわれた生駒兵部や紋屋次郎兵衛
や糸屋彦兵衛に競作をさせている。同年には
三十六歌仙の水引も加えられている。展示で
は、これら綴織の優品も一堂に紹介した。

出品資料数：23点

担当者：橋本 章

【「祇園祭—占出山の名宝—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	文化財指定
1	前懸 宮島之図	天保2年(1831)	重要有形民俗文化財
2	胴懸 松島之図	天保2年(1831)	重要有形民俗文化財
3	胴懸 天橋立図	天保2年(1831)	重要有形民俗文化財
4	胴懸 三韓人物満干潮図縁	明治23年(1890)	重要有形民俗文化財
5	前懸 萌葱地新羅古鏡之図	明治23年(1890)	重要有形民俗文化財
6	見送 富士山之図	天保2年(1831)	重要有形民俗文化財
7	見送 双龍額牡丹鳳凰紋綴錦	寛政6年(1794)	重要有形民俗文化財
8	見送 鳳凰牡丹紋中国綴織掛物	元禄12年(1699)	重要有形民俗文化財
9	上水引 三十六歌仙 刺繍	天保2年(1831)	重要有形民俗文化財
10	鮎 木彫彩色	江戸時代後期	重要有形民俗文化財
11	角飾金具 菊折れ枝に檜扇	天保2年(1831)	重要有形民俗文化財
12	角飾金具	明治23年(1890)	重要有形民俗文化財
13	見送掛鳥居 木製黒漆塗雲龍文鍍金金具付	寛政6年(1749)	重要有形民俗文化財
14	段松皮菱に枝垂桜文様唐織	享保4年(1719)	重要有形民俗文化財
15	白地段錦文様小袖	延享3年(1746)	重要有形民俗文化財
16	紅地珍繪扇文様縹珍打掛	寛延3年(1750)	重要有形民俗文化財
17	金地松梅文様小袖	天明4年(1784)	重要有形民俗文化財
18	鶯色立涌に唐草花文様縹珍打掛	文政8年(1825)	重要有形民俗文化財
19	紅縮緬地菊文様小袖	文政8年(1825)	重要有形民俗文化財
20	紫紋縮緬地紅葉に流水菊文様振袖	天保元年(1830)	重要有形民俗文化財
21	祇園祭礼図	江戸時代後期	
22	「九条殿幔幕寄附状」	文政13年(1830)	京都市指定
23	「御寄附物有無御断書写」	天保10年(1839)	京都市指定

III-1 総合展示 ▶ 2)〈京のまつり〉ゾーン

⑤ 祇園祭—太子山の名宝—

会 期：2014年1月18日(土)～3月30日(日)

前期展示：1月18日(土)～2月16日(日)

後期展示：2月19日(水)～3月30日(日)

概 要：「聖徳太子の伝承を元にした太子信仰の山」

太子山には、18世紀中頃の製作とされるインド刺繍による金地孔雀に幻想花樹図の胴懸や、その上部に掛けられる七宝繫文様の水引、緋羅紗地に狩野派の絵師の下絵を元にした秦の始皇帝と阿房宮の様相が刺繍で描かれた前懸や、龍の刺繍の布片を16点集めて緋羅紗地の上に幾何学的に配置した緋呉呂地龍角刺繍の前懸など、懸装品の優品が伝来している。

また、太子山を彩る装飾品には、四隅に飾ら

れる豪快な飛龍の金具や、欄縁に施された時計草の金具など、特徴的な品々も数多くある。そのほか、太子山の装飾品を飾る町内の宵宮飾りでは、江戸時代中期の能書家である青蓮院宮尊祐法親王の手による「聖徳太子」の書も掛けられ、京町家におもむきのある飾りが見られる。展示ではこうした品々を紹介した。

出品資料数：22点

担当者：橋本 章

【「祇園祭—太子山の名宝—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	指定等
1	見送 波濤に飛龍文様中国綴織婦人官服	江戸時代	重要有形民俗文化財
2	前懸 緋呉呂地角龍刺繍	宝暦7年(1757)	重要有形民俗文化財
	水引 雲龍波濤文様綴織	文化11年(1814)	
3	前懸 緋羅紗地阿房宮 刺繍	安永4年(1775)	重要有形民俗文化財
4	胴懸 金地孔雀に幻想花樹文様インド刺繍	安永4年(1775)	重要有形民俗文化財
	胴懸 唐子嬉遊図 綴織	文化11年(1814)	
5	水引 雲龍波濤文様綴織	文化11年(1814)	重要有形民俗文化財
6	水引 七宝繫文様	平成9年	
7	舞台裏中釣幕 扇面つなぎ文様 唐織	安永4年(1775)	重要有形民俗文化財
8	欄縁 時計草木瓜巴文様鍍金金具付	明治18年(1885)	重要有形民俗文化財
9	見送飾金具 日月兎鳥文様	明治39年(1906)	重要有形民俗文化財
10	角飾金具 時計草文様	明治18年(1885)	重要有形民俗文化財
11	角飾金具 飛龍彫金	明治39年(1906)	重要有形民俗文化財
12	角飾金具 波文様彫金	明治39年(1906)	重要有形民俗文化財
13	房 水浅葱丸打紐	明治39年(1906)	重要有形民俗文化財
14	御神体衣装 白地小葵龍文様 直衣	平成19年(2007)	
15	御神体衣装 紫地亀甲浮線綾文様 指貫	平成19年(2007)	
16	御神体衣裳 黒羅紗雨具 上着	江戸時代後期	重要有形民俗文化財
17	御神体衣裳 紺羅紗地雨具 袴	江戸時代後期	重要有形民俗文化財
18	太子山御神体小物 斧・沓・相扇	享保20年(1735)	重要有形民俗文化財
19	大朱傘		
20	荷茶屋		
21	太子山扁額 皆川月華書	昭和46年(1971)	
22	聖徳太子御軸 青蓮院宮一品尊祐親王筆	延享2年(1745)	

3) <京の至宝と文化>ゾーン

III-1 総合展示 ▶ 3) <京の至宝と文化>ゾーン

① 京都府寄託記念 丸紅コレクション名品展

会 期：2013年4月3日(水)～5月16日(木)

概 要：丸紅株式会社の所有する小袖等のコレクション約400件のうち300件あまりが、2011年7月より京都府立総合資料館に寄託されている。今回は、「島取りに柳文様小袖裂(桃山時代)」などを紹介した。

作品数：小袖、小袖裂など29件

担当者：林 智子



「京都府寄託記念 丸紅コレクション名品展」会場風景

【「京都府寄託記念 丸紅コレクション名品展」出品資料一覧】

番号	作品名	制作年代	展示期間
1	島取りに柳文様小袖裂	桃山時代	前期
2	島取りに柳文様小袖(復元)	平成10年(1998)	通期
3	桧葉重ね団扇立浪文様小袖裂	桃山時代	後期
4	梅樹文様小袖	江戸時代中期	前期
5	御簾に梅文様小袖	江戸時代中期	後期
6	波に菊文様小袖	江戸時代中期	前期
7	山水唐松文様小袖	江戸時代後期	前期
8	松竹梅瀧文様小袖	江戸時代中期	後期
9	春草に雉子文様小袖	江戸時代中期	前期
10	反物七宝繫文様小袖	江戸時代後期	後期
11	雪持南天文様小袖	江戸時代中～後期	後期
12	釣花文様小袖	江戸時代後期	前期
13	禪と菊青海波に梅文様振袖	江戸時代中期	通期
14	桜菊折枝蝶文様小袖	江戸時代後期	通期
15	松に泊舟文様帷子	江戸時代後期	通期
16	菊牡丹花束に斜立涌文様打掛	江戸時代後期	前期
17	桜折枝に唐扇文様小袖	江戸時代後期	後期
18	源氏物語文様打掛	江戸時代後期	後期
19	川辺に梅樹蜻蛉文様帷子	江戸時代後期	前期
20	御簾に唐子遊文様振袖	江戸時代後期	前期
21	葵檜扇文様振袖	江戸時代中期	後期
22	几帳に冠檜扇文様振袖	江戸時代後期	通期
23	松竹梅鶴亀文様振袖	江戸時代後期	前期
24	松皮菱麻の葉鶴の丸と梅樹文様振袖	江戸時代後期	後期
25	貝桶文様振袖	江戸時代後期	前期
26	松に反物文様振袖	江戸時代後期	後期
27	葡萄文様小袖裂	桃山時代	通期
28	格子に菊文様小袖裂	江戸時代初期	通期
29	松竹梅文様小袖裂 ほか	江戸時代	通期

※本展出品作はすべて丸紅株式会社所蔵(京都府立総合資料館寄託・当館管理)
 ※前期は平成25年4月3日(水)～21日(日)、後期は4月23日(火)～5月16日(木)

② 伝統と創生—京都府無形文化財保持者による—

会 期：2013年5月21日(火)～7月21日(日)

概 要：京都府無形文化財保持者と京都の重要無形文化財保持者15名の卓越した技術が織りなす工芸美の世界を紹介。

作品数：染織、陶芸、人形、木工、金工、ガラスなど
44点

担当者：洲鎌佐智子



「伝統と創生—京都府無形文化財保持者による—」会場風景

【「伝統と創生—京都府無形文化財保持者による—」展 出品資料一覧】

作者名	作品名	制作年	展示期間	
石田 亘	鑄込み硝子 筥 薫華	2008年	全期	
	鑄込み硝子 筥 華の詩	2009年	全期	
植田 参稔	鍛銅鑑流花器	1990年	全期	
	鍛四分一銀香炉	1994年	全期	
北村 武資	菱華文羅 袋帯	1975年	全期	
	羅 経錦 貼交屏風	1998年	全期	
木原 明	友禅・絞り訪問着 想	2010年	後期	
	友禅・絞り訪問着 辛夷陰陽文	2011年	前期	
	友禅・絞り訪問着 夏日	2012年	後期	
	友禅・絞り訪問着 牡丹風韻	2013年	前期	
木村 盛伸	灰釉さざ波皿	2010年	全期	
	波の花 大器	2011年	全期	
坂井 修	友禅訪問着 みぎわ	1988年	全期	
	友禅訪問着 秋光	2006年	後期	
	友禅訪問着 暮景	2013年	前期	
清水 保孝	藍釉銀彩亀遊文大鉢	1994年	全期	※
	鉄釉柿彩亀遊文花瓶	2013年	全期	
竹中 浩	白磁面取大壺	2012年	全期	
	白磁面取椿花瓶	2012年	前期	
	文房具	2009年	後期	
羽田 登	友禅訪問着 梅暦	2009年	後期	
	友禅訪問着 花吹雪	2010年	前期	
	友禅訪問着 紫野	2012年	前期	
	友禅訪問着 洛西 桐尾	2013年	後期	
林 駒夫	春庭花	2008年	後期	
	鞠の庭	2008年	前期	※1
	天鼓	2009年	前期	
	愛蓮	2011年	後期	
福田 喜重	刺繍訪問着 葵	2008年	全期	※1
	刺繍訪問着 立鼓亀甲文(四季)	1996年	全期	※
村上 良子	紬織着物 舞堂	1999年	前期	
	紬織着物 早蕨	2001年	前期	
	紬織着物 初夏	2007年	後期	
	紬織着物 微塵の中へ	2007年	後期	
村山 明	櫨拭漆重箱(内根来塗)	2007年	前期	
	櫨拭漆酒卓	2010年	全期	
	櫨拭漆九稜盛器	2012年	後期	
森口 邦彦	友禅訪問着 位相襷文	1993年	後期	
	友禅訪問着 暖流	1996年	前期	
	友禅訪問着 七宝花水木文	1997年	前期	
	友禅訪問着 緋稜文	2000年	後期	
渡邊 明	積層金彩切子鉢 九瑤	2006年	全期	
	積層金彩切子器 苔流	2010年	後期	
	積層切子鉢 迸沫II	2013年	前期	

※は京都府立総合資料館蔵(当館管理)、※1は京都府蔵、そのほかの作品は個人蔵

③ 京名所風俗図の世界

会 期：2013年7月26日(金)～9月16日(月・祝)
 概 要：京都の景観と風俗は、平安時代以来、日本の
 絵画において重要なテーマであり続けてきた。
 そのイメージはまず、京都を舞台とする物語
 絵画の場面風景として表され、また室町時代
 以降は特に、京都の名所・風俗自体を鑑賞す
 る名所風俗図が数多く登場する。時代、ジャン
 ルごとに異なって描かれるその姿を広く眺
 めわたす事で、我々は、過去の人々がこの都

市に向けたまなざしを復元する事が出来る。
 本展示では京都府および京都文化博物館の所
 蔵品を中心に、古代・中世絵巻の模本類に見
 られる京都のイメージ、および江戸時代京都
 の風景・風俗を描いた名所図・遊楽図を展示
 した。

作品数：日本画・版本 計19点

担当者：森 道彦

【「京名所風俗図の世界」展 出品資料一覧】

番号	作者	作品名		制作時期	所蔵先
1	原派	年中行事絵巻模本 内宴	卷子・1巻	原本：平安時代末期／ 展示品：江戸時代後期	京都府立総合資料館(当館管理)
2	原派	年中行事絵巻模本 梅宮祭	卷子・1巻	原本：平安時代末期／ 展示品：江戸時代後期	京都府立総合資料館(当館管理)
3		承安五節会図屏風模本	卷子・1巻	原本：平安時代末期／ 展示品：安永5年(1776)	京都府立総合資料館(当館管理)
4		文永賀茂草紙絵巻模本	卷子・1巻	原本：鎌倉時代中期／ 展示品：江戸時代後期	京都府立総合資料館(当館管理)
5		北野社頭図扇面	扇面・1面	江戸時代前期	京都府立総合資料館(当館管理)
6		四条河原遊楽図色紙	色紙・1面	江戸時代前期	京都府立総合資料館(当館管理)
7		月次風俗図色紙	色紙・2面	江戸時代前期～中期	京都府立総合資料館(当館管理)
8	狩野益信	洛外図屏風	屏風・6曲1雙	江戸時代前期	当館
9		洛中洛外図色紙	色紙・2面	江戸時代中期	個人蔵
10		嵐山春遊図屏風	屏風・6曲1雙	江戸時代中期	京都府立総合資料館(当館管理)
11	一醉斎泉蛙	天保踊図屏風	屏風・6曲1雙	天保10年(1839)	当館
12		京童	冊子・4冊	明暦4年(1658)	京都府立総合資料館(当館管理)
13		花洛細見図	冊子・4冊	宝永元年(1704)	京都府立総合資料館
14		都名所図会	冊子・5冊	安永9年(1780)	当館
15	原画：横山華山	花洛一覽図	台紙貼・1点	文化4年(1804)	京都府立総合資料館
16	原在中	東山三十六峯図	卷子・1巻	享和2年(1802)	京都府立総合資料館(当館管理)
17	原在明	修学院御幸図下絵	掛幅・3幅	文政7年(1824)	京都府立総合資料館(当館管理)
18	狩野種信	禁裏年中行事図巻	卷子・1巻	江戸時代中期	京都府立総合資料館(当館管理)
19	原在明	新嘗祭図	掛幅・1幅	江戸時代後期	京都府立総合資料館(当館管理)

④ 細川家 永青文庫コレクション5 描かれる日本のすがた

会 期：2013年7月30日(火)～9月8日(日)
 概 要：江戸時代の大大名・細川家のコレクションを
 母体として設立された永青文庫には、中世か
 ら近代に至るすぐれた日本の書画が数多く収
 蔵されている。歴代当主によって収集された
 古今の名だたる名画や、一流画人による作品
 や調度類、また旅や地理の記録画といった実
 用的なものまで、長い細川家のあゆみとも

に多種多様な絵画が集められた。本展示では、
 その中から特に日本の風景・風俗を描きだし
 た作品群を展示し、「京名所風俗図の世界」展
 示とともに、中近世の日本絵画における風景
 のイメージを追った。

作品数：日本画・複製画 計10点

担当者：森 道彦

【「細川家 永青文庫コレクション5 描かれる日本のすがた」展 出品資料一覧】

番号	作者	作品名	形態・員数	制作期	所蔵
1		長谷雄草紙(複製画)	卷子・1巻	原本：鎌倉時代後期 展示品：近代	永青文庫
2		北野天神縁起絵巻	卷子・6巻のうち第5巻	室町時代	永青文庫
3		秋夜長物語絵巻	卷子・2巻	室町時代	永青文庫
4	住吉広定	源氏物語図	掛幅・2幅	江戸時代後期	永青文庫
5	狩野養長	犬追物絵巻	卷子・2巻	江戸時代後期	永青文庫
6		祇園祭礼図巻	卷子・2巻のうち下巻	江戸時代前期	永青文庫
7	山本探川	富士三保清見寺図	掛幅・1幅	江戸時代中期	永青文庫
8	谷 文晁	東海道勝景図巻	卷子・1巻	江戸時代後期	永青文庫
9	杉谷行直	富士登山図巻	卷子・1巻	江戸時代後期	永青文庫
10		船路風景図巻	卷子・2巻	江戸時代後期	永青文庫

III-1 総合展示 ▶ 3)〈京の至宝と文化〉ゾーン

⑤ 近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝3

会 期：2013年9月14日(土)～10月27日(日)

前期展示：9月14日(土)～10月6日(日)

後期展示：10月9日(水)～10月27日(日)

概 要：陽明文庫は、近衛家に伝わった平安時代以来の貴重な資料を数多く所蔵している。本展では「“思い”を伝える一書状の美」をテーマに天皇・摂関・僧侶・貴族・将軍などの書状・消

息を中心とし、平成25年6月にユネスコ記憶遺産に登録された藤原道長の自筆日記『御堂関白記』(国宝)や古裂を展示して、近衛家に伝わった王朝文化の世界を紹介した。

協 力：公益財団法人陽明文庫

出品資料数：22件

担当者：長村祥知

【「近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝3」展 出品資料一覧】

番号	指定等	資料名	時代	展示期間
1	国宝	御堂関白記 自筆本 寛弘六年下巻	平安時代	前期
2	国宝	御堂関白記 古写本 寛弘六年巻	平安時代	前期
3	国宝	御堂関白記 自筆本 長保元年下巻	平安時代	後期
4	国宝	御堂関白記 古写本 長保元年巻	平安時代	後期
5	重要文化財	兵範記 嘉応元年十二月記 紙背文書(俊寛書状・平時忠書状ほか)	平安時代	前期
6	重要文化財	兵範記 仁安三年夏記 紙背文書(平頼盛書状・平重盛書状ほか)	平安時代	後期
7		春日権現霊験記絵巻 巻第二	江戸時代	通期
8		春日権現霊験記絵巻 巻第三	江戸時代	通期
9	重要文化財	藤原忠通 書状(内女房事)	平安時代	前期
10	重要文化財	藤原忠通 書状(為房記)	平安時代	後期
11	重要文化財	源家長 書状(其後目所劣)	鎌倉時代	前期
12	重要文化財	源家長 書状(御詠槌)	鎌倉時代	後期
13	重要文化財	明恵上人 書状	鎌倉時代	前期
14	重要文化財	尊円親王 書状	南北朝時代	後期
15	重要文化財	後小松天皇 書状	室町時代	前期
16		一条兼良勘返近衛政家書状	室町時代	後期
17	重要美術品	三条西実隆 書状	室町時代	通期
18		足利義植 書状	室町時代	通期
19		後陽成天皇 書状(火中)	桃山時代	通期
20	重要美術品	靈元天皇 書状(一巡)	江戸時代	通期
21		草虫図	室町時代	通期
22		古裂	江戸時代	通期

※すべて、公益財団法人 陽明文庫所蔵。

⑥ 京都府蔵池大雅美術館コレクション 池大雅—「柳下童子図屏風」と四君子図の世界—

会 期：2013年9月23日(月・祝)～11月4日(月・振休)
 概 要：池大雅は、江戸時代中期の京都に生きた文人画の巨匠の一人である。本展示では、池大雅美術館より寄贈され現在京都府が収蔵する池大雅の書画および関連資料のなかから、特に重要文化財に指定される「柳下童子図屏風」を中心に、大雅のすぐれた書画作品を展示した。展示では特に、古来より四君子と称された四

つの植物、蘭・竹・梅・菊のイメージに注目した。これらは気品ある美しさを備えた「君子」にふさわしい植物とされ、高潔な文人の心になう存在として尊ばれてきたものであり、山水画とともにもっとも文人精神を体現する主題という事ができる。

作品数：日本画・版本・大雅所用品その他 計18点
 担当者：森 道彦

【「京都府蔵池大雅美術館コレクション 池大雅—「柳下童子図屏風」と四君子図の世界—」展 出品資料一覧】

番号	作者	作品名	形態・員数	制作期	所蔵
1	王圻編	三才図会	冊子・120冊	中国・明・万曆37年(1609)	京都府立総合資料館
2	黄鳳池編	八種画譜	冊子・8冊	宝永7年(1710)／初版：中国・明代後期	京都府立総合資料館
3	王概編	芥子園画伝	冊子・4冊	江戸時代後期／ 初版：中国・清・康熙18年(1679)	京都府立総合資料館
4		菊譜百詠図	冊子・1冊	江戸時代中期～後期／ 初版：中国・明・天順2年(1458)	京都府立総合資料館
5		扶桑百菊譜	冊子・2冊	享保21年(1736)	京都府立総合資料館
6		机(大雅堂伝来)	机・1台	江戸時代中期	京都府蔵池大雅美術館コレクション
7	月峰	池大雅肖像	掛幅・1幅	江戸時代後期	京都府蔵池大雅美術館コレクション
8	野呂介石	大雅居室図	掛幅・1幅	寛政4年(1792)	京都府蔵池大雅美術館コレクション
9	池大雅	柳下童子図屏風	屏風・8曲1隻	江戸時代中期	京都府蔵池大雅美術館コレクション
10	池大雅	梅花月図	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府蔵池大雅美術館コレクション
11	池大雅	墨菊図	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府蔵池大雅美術館コレクション
12	池大雅	墨菊図扇面	掛幅・1幅	江戸時代中期	池大雅美術館
13	池大雅	墨竹図	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府蔵池大雅美術館コレクション
14	池大雅	墨竹図扇面	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府蔵池大雅美術館コレクション
15	池大雅	般若心経	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府蔵池大雅美術館コレクション
16	池大雅	蕙石図	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府蔵池大雅美術館コレクション
17	池大雅	天産奇葩図巻	卷子・1巻	寛延2年(1749)	池大雅美術館
18	池大雅	唐詩細楷	扇面・1面	江戸時代中期	京都府蔵池大雅美術館コレクション

■ 特別小陳列 「東寺百合文書」

概 要：国宝「東寺百合文書」は、東寺に伝来した古文書群で、現在は京都府が所有している。平成26年3月にユネスコが実施する「記憶遺産」事業に日本から東寺百合文書が推薦される予定となっており、登録への気運を盛り上げるべく、昔の東寺僧が古文書の管理に取り組んで

きたことが窺える資料二点を展示した。

会 期：2013年10月9日(水)～10月27日(日)
 協 力：京都府立総合資料館
 出品資料：さ函113号 文書出納日記
 マ函82号 足利義持御判御教書
 担当者：長村祥知

⑦ 近代の京友禅

会 期：2013年11月2日(土)～2014年1月19日(日)

概 要：本展覧会では、京都府所蔵資料の手描友禅および型友禅による優品と、京都府の所蔵する型友禅の下絵をもとに京友禅協同組合連合会の協力で制作した型友禅工程見本や復元工程見本をあわせて紹介した。

作品数：霞に春秋草文様着尺(下絵を基にした復元的制作)など24件

担当者：林 智子



「近代の京友禅」会場風景

【「近代の京友禅」展 出品資料一覧】

番号	作品名	所蔵	制作年代	展示期間
1	波に千鳥文様振袖	◇	明治時代	前期
2	四季花束文様振袖	◇	明治時代	後期
3	盆栽盛花文様振袖	◇	明治時代	前期
4	重菊枝小紋に菊文様下着	◇	明治時代	後期
5	唐山水楼閣文様小袖	丸紅株式会社(京都府立総合資料館寄託、当館管理)	江戸時代後期	前期
6	菊文様振袖	丸紅株式会社(京都府立総合資料館寄託、当館管理)	江戸時代後期	後期
7	花鳥図友禅染双幅	丸紅株式会社(京都府立総合資料館寄託、当館管理)	江戸時代後期	前期
8	牡丹雉子図友禅染掛軸	丸紅株式会社(京都府立総合資料館寄託、当館管理)	江戸時代後期	後期
9	菊雉子図友禅染掛軸	丸紅株式会社(京都府立総合資料館寄託、当館管理)	江戸時代後期	後期
10	雪輪に枝垂梅松文様振袖(一つ身)	◇	明治時代後期～大正時代	前期
11	掛花盆栽散らし文様振袖(一つ身)	◇	明治時代	後期
12	薬玉檜扇文様振袖(一つ身)	◇	明治時代	前期
13	羽衣文様振袖(四つ身)	◇	明治時代	後期
14	竜宮文様袱紗	丸紅株式会社(京都府立総合資料館寄託、当館管理)	明治時代	前期
15	宝船文様袱紗	丸紅株式会社(京都府立総合資料館寄託、当館管理)	明治時代	後期
16	型友禅下絵	◇	明治時代後期～大正時代	通期
17	霞に春秋草文様着尺(復元)	◇	平成23年(2011)	通期
18	草花文様振袖	◇	明治時代後期	通期
19	女御重陽文様着物	丸紅株式会社(京都府立総合資料館寄託、当館管理)	大正15年(1926)	通期
20	松葉に扇面文様下着	◇	明治時代後期	後期
21	染色型紙	◇	明治時代後期	通期
22	手描友禅道具	◇	明治時代後期～昭和時代前期	通期
23	手描友禅工程見本 五代田畑喜八作	◇	昭和41年(1966)	通期
24	帯(松竹梅鶴文様帯ほか)	◇	明治時代～大正時代	通期

※所蔵欄に◇とした作品は京都府立総合資料館所蔵(当館管理)

※前期は平成25年11月2日(土)～12月8日(日)、後期は12月10日(火)～平成26年1月19日(日)

⑧ 羅城門の記憶 — 模型の楽しみ方 3 —

会 期：2013年11月9日(土)～2014年2月2日(日)
 概 要：羅生門は平安京の象徴であり、倒壊後も様々な歴史や物語の舞台となり続け、その名は人々の記憶に刻まれていく。実際、門の倒壊後500年以上たった江戸時代の地図や地誌にも、もはや存在しないはずの羅城門の名が認められるのである。江戸時代の人々がみた羅城門とは何か？羅城門の存在した場所の実際の様子はどうだったのか？初公開の竹内(新)家文書を含む多様な歴史資料や模型で京の地域史を掘り起こした。

資料数：10件

担当者：村野正景、西山剛

展覧会関連イベント「羅生門を語る」

日時：2013年12月11日(水)午後3時～

場所：当館 別館ホール

講師：金剛流能楽師 宇高竜成師 宇高德成師

【「羅城門の記憶—模型の楽しみ方 3—」展 出品資料一覧】

番号	資料	作者等	時代	所蔵	展示期間
1	羅城門復元模型		昭和時代 昭和63年(1988)	※1	通期
2	竹内<新>家文書		江戸時代	個人蔵	通期
3	羅生門		江戸時代 寛文頃か	佛教大学附属図書館	通期
4	京童 巻二	中川喜雲 編	江戸時代 明暦4年(1658)	※2	前期
5	都名所図会 巻二	秋里籬島 著	江戸時代 安永9年(1780)	※2	前期
6	京城勝覧 上	貝原益軒 著	江戸時代 天明4年(1784)再板 ※初版は、宝永3年(1706)	※2	前期
7	「羅生門」使用面 顰	宇高景子 作	現代	個人蔵	後期
8	都名所車		江戸時代 正徳4年(1714)	※2	後期
9	京町鑑 横町	白露 著	江戸時代 宝暦12年(1762)	※2	後期
10	拾遺都名所図会 巻一	秋里籬島 著	江戸時代 天明7年(1787)	※2	後期

※1 当館

※2 京都府立総合資料館(当館管理)

⑨ 雛人形名品展

会 期：2014年1月25日(土)～3月28日(金)

概 要：京都府は質の高い雛人形のコレクションを所有しており、例年、展示を通して紹介している。本年度は、有職雛や古今雛といった江戸時代の雛人形、江戸時代の小袖や耳盥など蒔絵の調度、現代作家の制作した雛人形などを紹介した。

作品数：雛人形、調度など31件

担当者：林 智子



「雛人形名品展」会場風景

【「雛人形名品展」出品資料一覧】

番号	分類	作品名	作者	制作年代	展示期間
1	人形	立雛		江戸時代後期	通期
2	人形	立雛		江戸時代後期	通期
3	人形	元禄雛		江戸時代中期	通期
4	人形	有職雛		江戸時代後期	前期
5	人形	有職雛		江戸時代後期	後期
6	人形	有職雛		江戸時代後期	通期
7	人形	一文雛		江戸時代後期	通期
8	人形	陶器雛		明治時代	通期
9	人形	古今雛		明治時代	通期
10	人形	古今雛		江戸時代末期	後期
11	人形	古今雛		江戸時代後期	通期
12	人形	古今雛	二世大木平蔵	天保10年(1839)	通期
13	人形	市松人形		明治時代～大正時代	通期
14	人形	衣裳人形 母と娘		明治時代	通期
15	人形	三折人形		大正時代	通期
16	人形	立雛	中田世津	昭和52年(1977)	通期
17	人形	立雛	岡本正太郎	昭和45年(1970)	通期
18	人形	御殿雛		大正時代	通期
19	日本画	立雛図	土佐光貞	江戸時代後期	前期
20	日本画	立雛図	長沢芦鳳	江戸時代後期	前期
21	日本画	次郎左衛門雛図	幸野楳嶺	明治時代	後期
22	日本画	立雛	山口素絢	江戸時代後期	後期
23	風俗	鏡立		江戸時代後期	通期
24	風俗	鏡箱		江戸時代後期	通期
25	風俗	手拭掛		江戸時代後期	通期
26	風俗	耳盥・台輪		江戸時代後期	通期
27	風俗	渡金		江戸時代後期	通期
28	染織	井筒文様小袖		江戸時代後期	前期
29	染織	網干文様小袖		江戸時代後期	後期
30	染織	松鶴文様帷子		江戸時代末期～明治時代初期	通期
31	染織	笹亀文様振袖		明治時代	通期

※本展出品作はすべて京都府立総合資料館所蔵(当館管理)

※前期は平成26年1月25日(土)～2月23日(日)、後期は2月25日(火)～3月28日(金)

⑩ 細川家 永青文庫コレクション6 南北朝・室町時代の武家文書

会 期：2014年2月11日(火・祝)～3月23日(日)
 前期展示：2月11日(火・祝)～3月2日(日)
 後期展示：3月5日(水)～3月23日(日)

概 要：本展覧会では、永青文庫所蔵資料のうち、特に南北朝内乱期から室町時代にかけての足利将軍家や細川京兆家・細川和泉半国守護家に関わる古文書を展示した。いずれも平成25年6月に重要文化財に指定された細川家文書で

あり、前期展示では軍勢催促状・感状・守護補任状・所領目録・置文・遵行関係文書などを展示した。後期展示では嘉吉元年(1441)の六代将軍足利義教暗殺事件に際して出された一連の古文書を展示した。

協 力：公益財団法人永青文庫、熊本大学附属図書館
 出品資料数：39件
 担当者：長村祥知

【細川家 永青文庫コレクション6 「南北朝・室町時代の武家文書」出品資料一覧】

番号	指定	年月日 資料名	西暦	展示期間
1	重要文化財	正平6年12月15日 足利義詮感状	1351	前期
2	重要文化財	観応3年3月24日 足利義詮軍勢催促状	1352	前期
3	重要文化財	観応3年4月20日 足利義詮感状	1352	前期
4	重要文化財	観応3年6月20日 足利義詮感状	1352	前期
5	重要文化財	観応3年6月27日 足利義詮軍勢催促状	1352	前期
6	重要文化財	文和3年8月25日 足利義詮軍勢催促状	1354	前期
7	重要文化財	文和5年3月10日 室町将軍家御判御教書	1356	前期
8	重要文化財	貞治3年8月5日 道挺讓状	1364	前期
9	重要文化財	貞治4年12月13日 室町将軍家御判御教書	1365	前期
10	重要文化財	永和3年9月6日 室町将軍家御教書	1377	前期
11	重要文化財	嘉慶元年11月26日 細川頼有讓状	1387	前期
12	重要文化財	(明德3年)後10月14日 足利義満御内書	1392	前期
13	重要文化財	明德4年卯月7日 備後国御料所分注文	1393	前期
14	重要文化財	応永7年3月23日 室町将軍家袖判御教書	1400	前期
15	重要文化財	応永7年8月24日 室町将軍家御教書	1400	前期
16	重要文化財	応永7年8月24日 室町将軍家御教書	1400	前期
17	重要文化財	応永7年8月24日 室町将軍家御教書	1400	前期
18	重要文化財	応永15年8月29日 室町将軍家袖判御教書	1408	前期
19	重要文化財	(年未詳)10月15日 足利義満御内書		前期
20	重要文化財	応永18年8月21日 室町将軍家袖判御教書	1411	前期
21	重要文化財	応永22年11月10日 室町将軍家袖判御教書	1415	前期
22	重要文化財	(年未詳)11月11日 細川持之書状		後期
23	重要文化財	永享10年9月17日 室町将軍家袖判御教書	1438	後期
24	重要文化財	(嘉吉元年)7月20日 細川持之書状	1441	後期
25	重要文化財	(嘉吉元年)8月12日 細川持之書状	1441	後期
26	重要文化財	(嘉吉元年)8月19日 細川持之書状	1441	後期
27	重要文化財	嘉吉元年9月5日 室町将軍家御教書	1441	後期
28	重要文化財	(嘉吉元年)9月6日 細川持之書状	1441	後期
29	重要文化財	(嘉吉元年)9月14日 細川持之書状	1441	後期
30	重要文化財	(嘉吉元年)壬9月1日 細川持之書状	1441	後期
31	重要文化財	(嘉吉元年)後9月5日 細川持之書状	1441	後期
32	重要文化財	嘉吉元年閏9月16日 室町幕府管領下知状	1441	後期
33	重要文化財	(嘉吉元年)後9月18日 細川持之書状	1441	後期
34	重要文化財	(嘉吉元年)後9月18日 細川持之書状	1441	後期
35	重要文化財	嘉吉元年10月5日 細川持之遵行状	1441	後期
36	重要文化財	嘉吉元年10月5日 室町将軍家御教書	1441	後期
37	重要文化財	文安4年12月6日 室町将軍家御教書	1447	後期
38	重要文化財	(年未詳)3月16日 足利義教御内書		後期
39	重要文化財	永源庵宛寄進状		後期

※すべて公益財団法人 永青文庫所蔵(熊本大学附属図書館寄託)。

4) 3階、4階展示室

自主企画

III-1 総合展示 ▶ 4) 3階、4階展示室

① 京都文化博物館開館25周年記念・京都府立総合資料館開館50周年記念 京都・美のタイムカプセル

会 期：2013年9月12日(木)～12月1日(日)

会 場：3階、4階展示室

概 要：京都文化博物館開館25周年記念・京都府立総合資料館開館50周年記念して、「京の百景」、「京の四季」、「いのち賛歌」などの京都府所蔵の核となる絵画や「池大雅美術館コレクション」、「吉川観方コレクション」、「江馬務コレクション」、「舩健之助コレクション」などの主要コレクション群を中心にとりあげ、京都府所蔵資料の骨格と魅力の全容を紹介。

作品数：日本画、洋画、染織、陶芸、風俗資料など約850点を紹介。

担当者：洲鎌佐智子

【関連行事】

担当学芸員によるギャラリートーク

展示室内にて、各日午後6時～(約30分間)

9月27日(金)、10月18日(金)、11月8日(金)



「京都・美のタイムカプセル」図録表紙



「京都・美のタイムカプセル」会場風景

企画展示

III-1 総合展示 ▶ 4) 3階、4階展示室

② 生誕100年 佐藤太清展

会 期：2013年12月22日(日)～2014年2月9日(日)
[37日/50日]

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)、12月
28日～1月3日

*展示替：1月20日(月)

会 場：3階総合展示室

入場料：一般500円(400円)／大学生400円(320円)／
小中高生無料

* ()内は20名以上の団体料金

主 催：生誕100年佐藤太清展実行委員会、京都府、
福知山市、京都府京都文化博物館、NHK京都
放送局、NHKプラネット近畿

後 援：文化庁、公益社団法人日展、京都新聞社、朝
日新聞社京都総局、毎日新聞社京都支局、読
売新聞社京都総局、産経新聞社京都総局、日
本経済新聞社京都支社、京都市、京都府教育委
員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、(公
社)京都府観光連盟、(公社)京都市観光協会、
歴史街道推進協議会、KBS京都、エフエム京都

助 成：芸術文化振興基金

担当者：植田彩芳子、森 道彦

入場者：23,564人(1日平均 636.9人)

【概 要】

大正2年(1913)、京都府福知山市に生まれた佐藤太清(平成16年[2004]逝去)は、自然がかいま見せる一瞬のきらめきを、確実な写実性と豊かな色彩であらわす日本画家である。児玉希望塾の内弟子として日本画を学び、戦後の日展で活躍、日本の自然が持つ美しさを抒情的にあらわした「旅シリーズ」や、嵐や炎といった厳しい自然現象に対する崇高なまなざしで知られている。

画伯の生涯は、出生直後の両親との死別、戦中に病んだ結核による闘病生活、30歳でようやく迎えた日展初入選までの苦悩などがあり、決して順風満帆なものではなかった。しかし、自然に真摯に対峙し、独自の世界を創り上げ、日本芸術院会員、文化功労者となり、文化勲章を受章した。

平成25年(2013)は、生誕100年、そして没後10年に



「生誕100年 佐藤太清展」ちらし



「生誕100年 佐藤太清展」会場風景

あたる。そこで、本展覧会では、福知山市佐藤太清記念美術館をはじめ、全国の美術館、個人等の所蔵する作品から、約60点の日展出品作を中心に、関連素描、スケッチブックなどを紹介した。花鳥・風景といった

自然の美を写し取った画伯の70年に及ぶ画業をご覧いただいた。

【展覧会の構成と主な出品作品】

I 模索の時代

《かすみ網》1943年、板橋区立美術館

《迎春》1945年、福知山市佐藤太清記念美術館

II 生命へのまなざし

《風騒》1966年、日本芸術院

《緑雨》1970年、東京国立近代美術館

III 旅シリーズ、そして永遠の瞬間へ

《旅の朝》1980年、日本芸術院

《雪つばき》1994年、日本芸術院

日本画小作品・素描・スケッチブック

【出品作品数】 76点

【関連行事】

〔1〕新春記念コンサート

日時：1月5日(日) 午後2時～5時30分

場所：当館別館ホール

歌：稲村なおこ、川口京子、土屋朱帆、エルフェ女声合唱団

指揮：伊藤幹翁 チェロ：諸岡由美子 ピアノ：長谷川英佐子

朗読：伊藤弘子 お話：安田晴美

参加者数：151名

〔2〕特別座談会「佐藤太清の世界」

日時：1月11日(土) 午前10時30分～正午

場所：当館3階フィルムシアター

講師：中路融人氏(日本画家・文化功労者)、安田晴美氏(美術史家・福知山市佐藤太清記念美術館顧問・佐藤太清の孫)、聞き手：植田彩芳子(当館学芸員)

参加者数：80名

〔3〕対話型絵画鑑賞教室「ポエムの時間」

日時：1月19日(日) 午前10時30分～午後12時30分

場所：当館3階展示室内

講師：佐藤雅子氏(詩人・佐藤太清の長女)、安田晴美氏(美術史家・福知山市佐藤太清記念美術館顧問・佐藤太清の孫)

対象：小学生 *1年生の場合は、字が書ける

こと

参加者数：6名

〔4〕スペシャル・ギャラリートーク

日時：1月19日(日) 午後2時～3時

(追加)2013年12月22日、2014年1月4日、11日、12日、2月8日、2月9日 各日午後2時～3時

場所：当館3階展示室内

講師：安田晴美氏(美術史家・福知山市佐藤太清記念美術館顧問・佐藤太清の孫)

参加者数：1月19日(68名)、12月22日(80名)、1月4日(38名)、11日(68名)、12日(53名)、2月8日(80名)、2月9日(100名)

〔5〕担当学芸員によるギャラリートーク

展示室内にて、各日午後6時～(約30分間)

1月10日(金)、1月31日(金)

参加者数：それぞれ15名、23名



「佐藤太清展」スペシャル・ギャラリートーク



「佐藤太清展」新春記念コンサート

Ⅲ - 2 特別展示

1) 共催展等

Ⅲ-2 特別展示 ▶ 1) 共催展等

① インカ帝国展 マチュピチュ「発見」100年

会 期：2013年4月16日(火)～6月23日(日)

[60/69日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階、3階展示室

入場料：一般1,300円(1,100円)／大高生900円(750円)／中小生500円(400円)

* ()内は前売券及び20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、MBS、毎日新聞社

後 援：ペルー大使館、PROMPERU、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、(公社)京都府観光連盟、(公社)京都市観光協会、歴史街道推進協議会、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都

学術協力：国立科学博物館

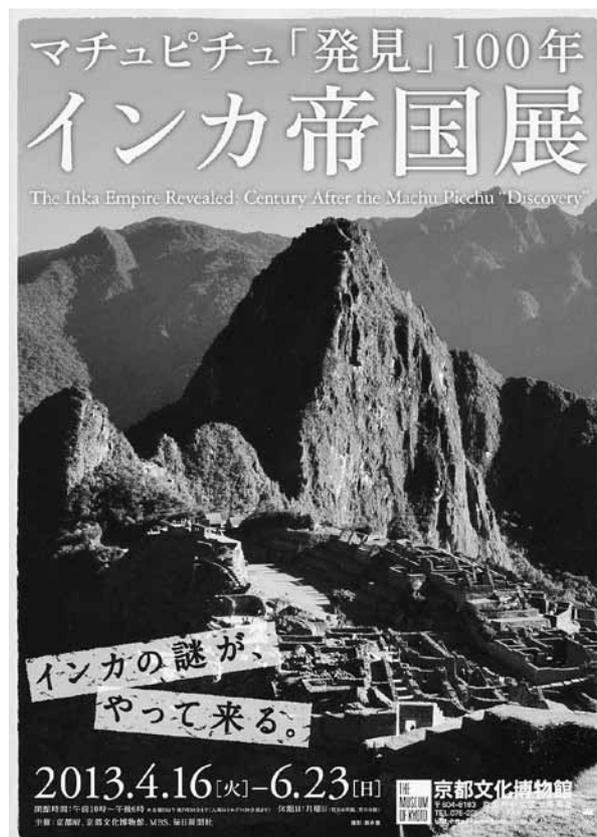
企画制作：TBSテレビ

協 力：KLMオランダ航空、凸版印刷、ユナイテッド航空

企画協力：ペルー文化省、ペルー文化省・イカ地方博物館、ペルー文化省・マチュピチュ遺跡博物館、ペルー文化省・クスコ地方局、ペルー文化省・トゥクメ遺跡博物館、ペルー文化省・プルチューコ遺跡ヒメネス・ボルハ博物館、ペルー文化省・国立考古学人類学歴史学博物館、ペルー国立トルヒヨ大学モチュエ神殿群遺跡博物館、ペルー国立クスコ大学・インカ博物館、ペルー国立アレキパ大学付属マリア・モランテ考古学博物館、レイメバンバ博物館、ラファエル・ラルコ考古学博物館、オスマ博物館、ペルー中央準備銀行附属博物館、バルボッサ・スターン・コレクション、チリ先コロンブス期美術館、チリ国立ラ・セレナ考古学博物館、フィールド自然史博物館

担当者：村野正景、植山 茂、長村祥知

入場者：101,769人(1日平均1,696人)



「インカ帝国展」ちらし



「インカ帝国展」会場風景

【概要】

15世紀前半に南米アンデスの高地に興り、16世紀前半には南北4千キロに広がる大帝国を築いたインカ。このアンデス文明史上、最大にして最後の大帝国をめぐる様々な謎に関して、百年以上にわたっておこなわれてきた研究は、この謎に満ちた文明の姿を徐々に明らかにしつつある。本展覧会は、1911年に米国人考古学者ハイラム・ビンガムが世界にマチュピチュ遺跡を紹介してから100年を記念し、最新の研究成果にもとづいた魅力あふれるインカの姿を四部構成で紹介した。

【展覧会の構成と主な出品資料】

第1章 帝国の始まりとその本質

《金合金製の小型人物像》15～16世紀、ペルー国立クスコ大学・インカ博物館

《貫頭衣(チュニック)》15～16世紀、ペルー文化省・国立考古学人類学歴史学博物館

第2章 帝国の統治

《ミイラ》15～16世紀、レイメバンバ博物館

《ケロ》15～16世紀、ペルー文化省・国立考古学人類学歴史学博物館

第3章 滅びるインカ、よみがえるインカ

《銀製酒杯アキリヤ》17世紀、ペルー国立アレキパ大学付属マリア・モランテ考古学博物館

《ストウルワシの聖母〜クスコにおける征服最初の奇蹟》18世紀、バルボッサ・スターン・コレクション

第4章 マチュピチュへの旅

3Dスカイビューシアター「マチュピチュー太陽の聖地」

【出品作品数】 約160点

【関連行事】

〔1〕講演会A「インカの謎を解く！」

—DNAが解明するインカの起源と甦るインカー—

日時：4月20日(土) 午後1時30分～3時

場所：本館3階フィルムシアター

講師：篠田謙一氏(国立科学博物館人類研究部人類史研究グループ長)、網野徹哉氏(東京大学大学院総合文化研究科教授)

参加者数：160人

〔2〕講演会B「早わかりアンデス文明—山と砂漠と世界遺産」

日時：5月11日(土) 午前10時30分～正午

場所：本館3階フィルムシアター

講師：芝田幸一郎氏(神戸市外国語大学准教授)

参加者数：140人

〔3〕記念コンサート「瀬木貴将 マチュピチュの夜明け」

日時：6月1日(土) 午後6時～7時30分

場所：当館別館ホール

演奏：サンポーニャ&ケーナ：瀬木貴将氏

ピアノ：佐山こうた氏

曲目：展覧会テーマ「Inka」

参加者数：183人

〔4〕ワークショップC「羊毛でアルパカの指人形を作ろう！」

日時：4月27日(土) 1回目午前10時30分～正午

2回目午後1時30分～3時

場所：当館2階総合展示室内研修室

講師：湯浅徳子氏(フェルト作家・ひだまり工房主宰)

参加者数：15人(1回目)、13人(2回目)

〔5〕ワークショップD「キープを作ろう！」

日時：5月25日(土) 1回目午前10時30分～正午

2回目午後1時30分～3時

場所：別館2階講義室

講師：村野正景(当館 担当学芸員)

参加者数：(1回目)13人、(2回目)17人

〔6〕担当学芸員によるギャラリートーク

展示室内にて、各日午後6時～(約30分間)

4月26日(金)、5月10日(金)、5月24日(金)、

6月7日(金)

担当：村野



「インカ帝国展」ギャラリートーク



「インカ帝国展」ワークショップコーナー

② NHK大河ドラマ特別展 八重の桜

会 期：2013年7月13日(土)～9月1日(日)

[46/51日間]

休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

※但し、7月16日、8月12日は臨時開館

会 場：4階、3階展示室

入場料：一般1,200円(1,000円)／大高生800円(600円)／中小生400円(300円)

※()内は前売り券及び20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、NHK京都放送局、NHKプラネット近畿、京都新聞社

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、KBS京都、エフエム京都進協賛会、KBS京都、エフエム京都

協 賛：日本写真印刷、ハウス食品、三井住友海上

特別協賛：同志社女子大学、同志社校友会、同志社同窓会、茶道裏千家

協 力：同志社大学

担当者：西山 剛、橋本 章、畑 智子

入場者：59,076人(1日平均 1230.8人)



「NHK大河ドラマ特別展 八重の桜」ちらし

【概 要】

NHK大河ドラマ「八重の桜」の主人公・新島(山本)八重は、会津藩の砲術師範であった山本権八・佐久の子として生まれた。慶応4年(1868)の戊辰戦争時には鶴ヶ城に籠城し、自らも銃をとって奮戦。会津藩の敗戦後、八重は兄の山本覚馬を頼って京都に移り、半年後、京都最初の女学校「女紅場」の教師となる。その傍らで英語や聖書も学び、アメリカ帰りで後に同志社の創立者となる新島襄と出会い、その翌年に結婚。気高く毅然と立ち居振る舞う八重の生きざまを、襄は「ハンサム」と評した。本展は、幕末から近代の激動の時代を生きた八重の生涯をゆかりの歴史資料、美術工芸品で辿ったものである。



「NHK大河ドラマ特別展 八重の桜」会場風景

【展覧会の構成】

プロローグ

第1章 会津の教え

第2章 幕末の京都

第3章 会津籠城

第4章 古都復興一覚馬と襄一

第5章 ハンサムウーマンへ

エピローグ

【主な出品作品】

- ・狩野探幽筆 保科正之像(平服) 江戸時代17世紀
土津神社 ※福島県指定重要文化財
- ・青水宣政筆 七卿落図屏風 大正2年(1913)
京都府立総合資料館(当館管理)
- ・葵紋散牡丹蝶蒔絵重硯箱 19世紀 個人
- ・孝明天皇御製 江戸時代 文久3年(1863年) 個人
- ・孝明天皇御宸翰 江戸時代 文久3年(1863年)
個人
- ・禁門の変感状 江戸時代 元治元年(1864年)
霊山歴史館
- ・鳥羽・伏見の戦図屏風 明治時代 栃木県立博物館
- ・The guide to the celebrated places in Kiyoto & the
surrounding places for the foreign visitor 明治6
年(1873) 尼崎市教育委員会
- ・新島八重和歌短冊「大磯の」 同志社大学同志社社
史資料センター

【出品作品数】 210点

【関連行事】

〔1〕歴史散策

橋本章(当館 学芸員)

「八重が生きた京都をめぐる」

日時：6月29日(土) 午前10時～

場所：市内各所

※NHKによる番組制作

参加費：500円(保険料等) 参加者数：45人

〔2〕講演会A

「近代京都における同志社開校とそれを取り巻く
人々」

日時：7月14日(日) 午前10時30分～正午

場所：当館3階 フィルムシアター

講師：小枝弘和氏(同志社大学同志社社史資料セ
ンター 社史資料調査員)

参加費：無料、但し、チケットの半券が必要

参加者数：80人

〔3〕講演会B

「新島八重の茶事記」

日時：7月19日(金) 午前10時30分～正午

場所：当館3階 フィルムシアター

講師：筒井紘一氏(茶道資料館副館長/今日庵文
庫長)

参加費：無料、但し、チケットの半券が必要

参加者数：105人

〔4〕講演会C

「博覧会の時代 ―八重の生きた近代の京都」

日時：8月10日(土) 午前10時30分～正午

場所：別館ホール

講師：畑 智子(当館 学芸課長)

参加費：無料、但し、チケットの半券が必要

参加者数：120人

〔5〕音楽会

「八重の聴いた音楽 ―近代歌曲の調べ―」

日時：8月17日(土) 午後6時～

場所：別館ホール

演奏：東朝子(音楽家)

参加費：1,000円、但し、チケットの半券が必要

参加者数：106名

〔6〕担当学芸員によるギャラリートーク

展示室内にて(約30分間)

①7月13日、②7月19日、③8月2日、④8月16
日、⑤8月30日

※①：午後5時～、②～⑤：午後6時～(約30分間)

〔7〕特別ギャラリートーク

「特別鑑賞とギャラリートーク」(対象：東日本大震
災に際する京都府域避難者)

ゲストスピーカー：古山智行氏(福島県立博物館

主任学芸員)、小枝弘和氏(同志社社史資料セン
ター 社史資料調査員)

参加者数：11人

③ 光の賛歌 印象派展 ～パリ、セーヌ、ノルマンディの水辺を辿る旅～

会 期：2014年3月11日(火)～5月11日(日)

[55/62日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階、3階展示室

入場料：一般1,200円(900円)／大高生800円(700円)
／中小生：400円(300円)

※()内は、前売り及び20名以上の団体割引
料金

主 催：京都府、京都文化博物館、産経新聞社、京都
新聞

後 援：外務省、文化庁、アメリカ合衆国大使館、オ
ーストラリア大使館、カナダ大使館、スイス
大使館、ドイツ連邦共和国総領事館、ブリテ
ィッシュカウンシル、京都市、京都府教育委
員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、(公
社)京都府観光連盟、(公社)京都市観光協会、
歴街道推進協議会、KBS京都、エフエム京都

特別協賛：凸版印刷株式会社、三菱UFJ信託銀行

協 賛：王子ホールディング株式会社、清水建設株式
会社、三菱冷熱工業株式会社、野崎印刷紙業
株式会社

協 力：日本航空、NHKエデュケーショナル、ヤマ
トロジスティクス

企 画：東京富士美術館

担当者：洲鎌佐智子

入場者：310,219人(1日平均約5,540人)

【概 要】

本展は、8カ国35館から集められた全73点の作品に
よって、印象派の画家たちが追い求めた「光の中の風景」
に迫ったもので、セーヌやノルマンディの「水辺」を描
いた珠玉の作品を一堂に紹介したもの。

【展覧会の構成】

序章 印象派の先駆者たち 近代風景画の先駆者たち
水辺の風景画の源流を訪ね、17世紀オランダのホ
イエン、19世紀前半に活躍したイギリスの巨匠タ
ーナー、クールベ、そして自然観照を旨とするバル
ビゾン派など印象派に影響を与えた画家の作品



「光の賛歌 印象派展」チラシ



「光の賛歌 印象派展」会場風景

を紹介。

第1章 セーヌ川の憩い

パリ近郊の川辺を描く画家たち

印象派の画家が訪れたお気に入りのセーヌ河畔の
水辺の風景を描いた作品を中心に紹介。

第2章 ノルマンディ海岸の陽光

海辺を描く画家たち

ここではセーヌ川が注ぎ込むノルマンディ海岸の風景画を紹介。

【出品作品数】 73点

【関連行事】

関連イベント

〔1〕講演会

「水辺の印象派―描かれた川、池、海をめぐる―」

日時：4月5日(土) 午前10時30分～正午

場所：当館3階フィルムシアター

講師：三浦篤氏(東京大学教授)

参加費：無料(ただし、本展覧会入場券[半券可]が必要)*事前申込み

参加者数：150名

※このほか3月14日web産経、3月31日ジパンク倶楽部講演会を催行(担当者対応)

III-2 特別展示 ▶ 1) 共催展等

④ 京都府美術工芸新鋭展 ～京都国際現代芸術祭2015への道～

会 期：2014年1月25日(土)～2月9日(日)

[14/16日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階特別展示室

入場料：一般700(560)円/大高生500(400)円/中小生400(300)円

* ()内は20名以上の団体料金

* 別館ホールでの特別出品会場へは入場無料

主 催：京都府、京都府京都文化博物館

後 援：京都新聞社、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社京都支社、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、京都商工会議所、京都日本画家協会、京都工芸美術作家協会、京都彫刻家協会、京都国際現代芸術祭組織委員会

協 力：京都造形芸術大学 ウルトラファクトリー

担当者：洲鎌佐智子

入場者：26,665人(有料2,265人、無料24,400人)

1日平均 1904人

(このうち4階のみ入場者4,331人 1日平均309人)

【概 要】

京都府を中心とした美術館学芸員、美術系大学、画廊等による推薦委員から推薦された候補作家の中から、



「京都府美術工芸新鋭展」会場風景

選考委員会にて選抜された40歳以下の若手作家の43人の作品を紹介。また別館ホールでは、京都を本拠地として国際的に活躍する現代美術作家、ヤノベケンジ氏の特別出品「Sun Sister」を展示。

【選考委員・審査員】

太田垣實氏(美術評論家)・高階絵里加氏(京都大学准教授)・建畠哲氏(京都市立芸術大学長)・平井章一氏(京都国立近代美術館主任研究員)・山梨俊夫氏(国立国際美術館館長) (五十音順)

【選考委員会】

2013年7月23日(火) 午後1時30分～ 別館講義室
206人の作家から44人が選抜。(このうち1名が辞退)

【審査会】

2014年1月21日(火) 午後1時30分～ 4階特別展示室
43作品を対象に9つの受賞作品を選出

【出品作品数】 43人／43点

【受賞作品】

最優秀賞 1点【賞状、副賞金50万円】

賞名	氏名	作品名	住所地(市、区)
最優秀賞	いしづか けんた 石塚 源太	塗層の景象	京都市南区

優秀賞 1点【賞状、副賞金10万円】

賞名	氏名	作品名	住所地(市、区)
優秀賞	うりゅう ゆうこ 瓜生 祐子	decoration cake	大津市

メディア賞 7点【賞状】

賞名	氏名	作品名	住所地(市、区)
京都新聞社賞	よしおか ちひろ 吉岡 千尋	muqarunas	京都市右京区
朝日新聞社賞	かわい なつみ 河井 菜摘	情報の質感	京都市上京区
毎日新聞社賞	さたけ りゅうぞう 佐竹 龍蔵	風といっしょに	京都市左京区
読売新聞社賞	むらやま はるな 村山 春菜	天満下町物語	向日市
産経新聞社賞	ふくやま りゅうすけ 福山 竜助	喪失してしまった風景	八幡市
日本経済新聞社賞	ひとおさ かづき 人長 果月	Metamorphoses	京都市左京区
NHK京都放送局長賞	いづら たかし おおしま さちよ 井浦 崇 + 大島 幸代	Plants music (the inner rose)	大阪府箕面市

【関連行事】**〔1〕授賞式**

日時：1月25日(土)

午前10時30分～正午(開催初日)

場所：京都文化博物館

3階フィルムシアター(授賞式)

4階特別展示室、別館ホール(作品鑑賞会)

大賞等9賞に対する賞状授与

山内副知事、小西政策監、神山副館長、審査員(建
畠氏、平井氏、太田垣氏)、新聞社、受賞者、出品
作家、特別出品作家(ヤノベケンジ氏)、大学等関
係者ほか

出席者総数 約60人

〔2〕出品作家によるギャラリートーク

・第1回目

日時：2月1日(土)午後1時30分～午後3時

場所：京都文化博物館 4階特別展示室

ギャラリートーク参加作家 17名

視聴者約50～60名

人長果月、國政聡志、秋山はるか、任瑛彬、瓜生
祐子、河井菜摘、田中加織、伊藤藍、佐々木真土、
吉村昌子、安藤隆一郎、石田真也、田村葵、シュ
ヴァーブ・トム、並木文音、浅野真一、矢津吉隆

・第2回目

日時：2月8日(土)

午前10時30分～正午(開催初日)

場所：京都文化博物館 4階特別展示室

ギャラリートーク参加作家 16名

視聴者数約50～60名

松村綾香、入澤あづさ、服部しほり、岡田彩希子、
岡本高幸、佐竹龍蔵、山地咲希、田中加織、伊藤藍、
吉村昌子、佐々木真土、石田真也、田村葵、シュ
ヴァーブ・トム、東明、福岡佑梨

*2013(平成25)年度特別展一覧

展覧会名	会期	日数	入場者数	一日平均	形態
インカ帝国展 マチュピチュ「発見」100年	2013.4.16～6.23	60	101,222	1,687	共催
NHK大河ドラマ 特別展 八重の桜	2013.7.13～9.1	46	59,184	1,287	共催
京都府美術工芸新鋭展～京都国際現代芸術祭2015への道～	2014.1.25～2.9	14	26,953	1,925	委託
光の賛歌 印象派展	2014.3.11～3.31(5.11)	18	59,971	3,332	共催
計4件		138	247,330	1,792	

2) 京都府民ギャラリー事業への協力

京都府では、府民が身近に「文化・芸術の町」を体感できる空間を創出するために、府民ギャラリー事業を実施している。本事業は、京都府が所蔵する美術工芸品のうち、「京の四季」や「京の絵本原画」等からテーマ

を定めて構成した作品群を、府内の文化施設で展示するもので、当館は、(1)展示会場となる文化施設の事前調査、(2)展示作品の選定、(3)会場での展示指導などに協力している。

【京都府民ギャラリー展示作品一覧】

主催者	期間	開催場所	展示内容	点数
京都府	2013.3.19～6.20	京都府文化環境部文化芸術振興課	「京の四季」作品 山尾平「朝の三年坂」ほか	7
京都府	2013.6.20～9.25	京都府文化環境部文化芸術振興課	「京の四季」作品 水田慶泉「明神川の雨(上賀茂の社家)」ほか	7
				合計14点

Ⅲ - 3 映 画

1) 常設上映

上映期間	テ ー マ	作 品 名	日数	回数	鑑賞者
2013.4.2~29	映画にみる美男子の魅力 現代劇篇	暖流／兄とその妹／銀嶺の果て／静かなる決闘／暁の脱走／白痴／恋文／浮雲／台風騒動記／あなた買います／雪国／誇り高き挑戦／いとほん物語	25	49	3,159
2013.5.2~6.2	特撮魂！ 映画職人の夢と汗	大魔神／ゴジラ／釈迦／弥次喜多 善光寺詣り／渋川伴五郎／狂った一頁／ハワイ・マレー沖海戦／加藤隼戦闘隊／新諸国物語 笛吹童子／ノンちゃん雲に乗る／美女と怪竜／東海道四谷怪談／女と海賊／怪談／太平洋奇跡の作戦キスカ	29	58	3,689
2013.6.4~23	追悼 三國連太郎特集上映	命美わし／本日休診／夫婦／ビルマの豎琴／異母兄弟／風と女と旅鴉／荷車の歌／飢餓海峡／にっぽん泥棒物語	18	36	3,653
2013.6.25~30	特別展「八重の桜」開催記念プレ上映	維新の曲／京洛の舞／新選組始末記	6	12	861
2013.7.2~8.7	映画に見る美男子の魅力 時代劇篇	砂絵呪縛／坂本龍馬／弁天小僧／国士無双／恋山彦／藤十郎の恋／柳生二蓋笠／宝の山に入る退屈男／初姿人情鴉／次男坊鴉／女狐風呂／薄桜記／大江戸の快児／家光と彦左と一心太助／源氏九郎颯爽記 秘剣揚羽の蝶／この首一万石	28	56	4,151
2013.7.15~17	祇園祭記念特別上映	祇園祭	3	6	717
2013.7.19、20	『彌勒 MIROKU』完成記念 林海象監督作品上映	夢見るように眠りたい	2	4	411
2013.8.9~11	第19回京都国際子ども映画祭	ママ、アイラブユー／ジグザグキッドの不思議な旅／短編・アニメ集／チ子を撮りに	3	9	740
2013.8.12~9.29	映画女優 高峰秀子を再考する	東京の合唱／花籠の歌／綴方教室／樋口一葉／馬／昨日消えた男／宗方姉妹／細雪／カルメン故郷に帰る／カルメン故郷に帰る／白黒版／稲妻／煙突の見える場所／雁／二十四の瞳／女の園／この広い空のどこかに／遠い雲／喜びも悲しみも幾年月／張込み／女が階段を上る時／永遠の人	42	84	9,110
2013.8.24、25	映画の復元と保存に関するワークショップ 作品上映	大藤信郎短編アニメ／東京オリンピック	2	3	492
2013.9.14	シネマカレッジ京都スクリーニングセッション 京都と映画を受け継ぐ	お引越し／ごめん	1	2	47
2013.10.1~31	京都 きもの 映画 映画に見るきもの文化	櫛とかんざし／京くみひも／人生のお荷物／朧夜の女／女人哀愁／歌麿をめぐる五人の女／雪夫人絵図／西陣／京舞・四世井上八千代／お遊さま／東京物語／京扇子／京うちわ／金銀糸／鍵／ツイゴイネルワイゼン／夢二／鬼龍院花子の生涯	27	54	3,599
2013.11.1	朽木村針畑の生活記録『ワキノタン』上映会	ワキノタン	1	1	118
2013.11.1~29	新選組生誕150周年記念一幕末京都と新選組	その前夜／江戸最後の日／暗殺／幕末残酷物語／燃えよ剣／竜馬暗殺／竜馬を斬った男／新選組始末記	15	28	1,460
2013.11.4~10	第1回京まちなか映画祭	華やかなる招待／世界は僕らを待っている／ハイ！ロンドン／炎の肖像／帰ってきたヨッパライ／日本春歌考	6	12	462
2013.11.14~17	第1回京都映像フォーラム	カントリーガール／カサブランカの探偵／京都シネマ・カレッジウィーク作品／ストロボライト／頼りない人々／愛と希望の街／太陽の墓場／新宿泥棒日記／坂本龍馬／諧謔三浪士／鞍馬天狗 恐怖時代／弥勒	4	9	520
2013.11.29	映画テレビ技術協会京都支部 受賞作品を見る会	わが母の記	1	1	52
2013.11.30~12.8	第5回京都ヒストリカ国際映画祭	ソード・アイデンティティ／ダリオ・アルジェントのドラキュラ／伏鉄砲娘の捕物帳／ハックルベリー・フィンの冒険／風と共に去りぬ？！／ピー・マーク／スウィートエンジェル／特集ヨーロッパ初期映画からチャップリンへ／エスケープ／暗黒の狩人と逃亡者／恐喝[ゆずり]／ファラオの恋／フライングギロチン	8	19	1,062
2013.12.10~27	俳優 池部良 特集上映	戦争と平和／破戒／ベン偽らず 暴力の街／暁の脱走／青い山脈／続青い山脈／現代人／暗夜行路／雪国	16	32	1,715
2014.1.4~2.2	生誕100年記念 早坂文雄の映画音楽世界	女優／酔いどれ天使／生きている画像／野良犬／生きる／醜聞／めし／雨月物語／山椒大夫／七人の侍／近松物語／あすなる物語／生きものの記録	24	48	3,333
2014.1.26	大島渚監督一周忌追悼イベント	KYOTO, MY MOTHER'S PLACE	1	4	554
2014.2.4~3.2	宝塚歌劇100周年 宝塚歌劇女優と映画	鶯／江戸の悪太郎／無法松の一生／西陣の姉妹／源氏物語 浮舟／螢火／夜の鼓／私は貝になりたい／女の坂／ぼんち／新源氏物語／香華	23	46	3,164
2014.3.1	「夢を生きる テイラーアンダーソン物語」上映会	夢を生きる テイラーアンダーソン物語	1	1	37

2014.3.1～3.30	ぶんぱく青春映画祭 ヨリ道ノススメ3	教室の子供たち／絵を描く子供たち／嵐を呼ぶ男／赤いインカチ／洲崎パラダイス 赤信号／けんかえれじい／男はつらいよ 寅次郎忘れな草／美味しんぼ／黒蜥蜴／女囚701号 さそり／スレイヤーズ／スレイヤーズ RETURN／銀河鉄道の夜／アキハバラ電脳組 2011年の夏休み／人間の証明／スローなブギにしてくれ／転校生／探偵物語／典子は、今／四月物語／遠雷／ミスター・ミセス・ミス・ロンリー／ニワトリはハダシだ／ぼくんち／グスコブドリの伝記／トキワ荘の青春／ハチミツとクローバー／パッチギ！／アンチェイン／ファンシイダンス／フラガール／MEMORIES／鉄コン筋クリート／瀬戸内少年野球団／ピンポン／パブリカ／どついたるねん／王手／つぐみ／ふたり／サイドカーに犬／天然コケッコー／パーマネント野ばら／SRサイタマノラッパー／GHOST IN THE SHELL 攻殻機動隊2.0／涼宮ハルヒの憂鬱／天上人とアクト人最後の戦い	25	49	3,191
---------------	--------------------	---	----	----	-------

2) 特別企画・共催事業

III-3 映画 ▶ 2) 特別企画・共催事業

① 2013年度共催上映等の実績

◆映画『彌勒 MIROKU』公開記念林海象監督作品上映

〔共催〕映像探偵社

〔期間〕7月19日(金)～20日(日)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕林海象監督の新作『彌勒 MIROKU』の公開を記念して処女作である『夢みるように眠りたい』を上映。

〔鑑賞者数〕411人(206人／1日)

委員会、東宝株式会社、崑プロ、東京国立近代美術館フィルムセンター、コダック株式会社、オーディオメカニックス社、(株)IMAGICAウェスト、富士フイルム株式会社、報映産業株式会社

〔期間〕8月24日(土)～25日(日)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕映画フィルムの復元についての講座と実習を行う。あわせて近年復元された『孫悟空物語』『村祭』『春の唄』『東京オリンピック』の上映。岡島尚志、宮野起、エイドリアン・ウッド、ジョン・ボリトによる講演。

〔鑑賞者数〕492人(246人／1日)

◆第19回京都国際子ども映画祭

〔共催〕キンダーフィルムフェストきょうと

〔期間〕8月9日(金)～11日(日)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕世界各国で製作される子ども映画を、ベルリン国際映画祭ジェネレーション部門受賞作を中心に集め、子ども審査員によりコンペティションを行う。『ママ、アイラヴユー』『ジグザグキッドの不思議な旅』『ヤードバード』等9作品の上映。『チチを撮りに』の中野量太監督、主演女優の柳英理紗、松原菜野花によるゲストトーク。

〔鑑賞者数〕740人(247人／1日)

◆「京都映画若手育成ラボ」「京都映画・映像企画市」関係者向け撮影報告会

〔共催〕VIPO京都事務所

〔期間〕9月14日(土)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕2012年の京都映画若手才能育成ラボでの撮影作品と京都映画映像企画市での撮影作品の関係者向け報告会と、『Battle of Kyoto ～未来特区ネオウズマサ～』の辻本貴則監督と掛尾良夫によるパネルディスカッション。

〔鑑賞者数〕40人(40人／1日)

◆第8回映画フィルム復元ワークショップ作品上映

〔共催〕NPO法人映画保存協会、神戸映画資料館、大阪芸術大学、プラネット映画資料図書館、玩具映画プロジェクト

〔協力〕国際オリンピック委員会、日本オリンピック

◆「シネマカレッジ京都 スクリーニング・セッション」

〔共催〕シマフィルム、映画24区

〔期間〕9月14日(土)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕相米監督に師事した富樫森監督による京都が舞台の爽快作『ごめん』と、助監督を担当した『お引越し』の上映と富樫監督によるトーク。

〔鑑賞者数〕47人(47人／1回)

◆『父のころ』内覧試写会

〔共催〕シマフィルム

〔期間〕10月8日(火)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕京都寺町三条に生まれ育った谷口正晃監督による新作『父のころ』の試写と谷口監督、主演の大塚まさじ、プロデューサーの三谷一夫による舞台挨拶。

〔鑑賞者数〕39人(39人／1回)

◆朽木村針畑の生活記録『ワキノタン』上映会

〔共催〕京都精華大学針畑生活資料研究会

〔期間〕11月1日(金)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕滋賀県高島市朽木村針畑川流域の生活文化財として暮らしから生み出された生活用具(デザイン)に視点をあて、村の人々の「知恵」と生活史の記憶を記録した『ワキノタン』の上映と丸谷彰監督によるトーク。

〔鑑賞者数〕118人(118人／1回)

◆【第1回京まちなか映画祭】

〔共催〕新京極商店街振興組合、京まちなか映画祭実行委員会

〔期間〕11月4日(日)～10日(日)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕京都、まちなかの新京極(MOVIX京都、ネロパッソ)、木屋町(元・立誠小学校、アバングルド)、四条烏丸(京都シネマ)、三条高倉(京都文化博物館)を結び音楽映画を特集上映。当館では『世界は僕らを待っている』『炎の肖像』、大島渚監督の『帰って来たヨッパライ』『日本春歌考』等6作品を上映。

〔鑑賞者数〕462人(77人／1日)

◆【第1回京都映像フォーラム】

〔共催〕京都市、京都映画映像活性化委員会

〔期間〕11月14日(木)～17日(日)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕『カンントリーガール』『頼りない人々』『彌勒MIROKU』等新作8作品、京都の古典『坂本龍馬』『鞍馬天狗 恐怖時代』等3作品、京都出身の大島渚監督の『愛と希望の街』『太陽の墓場』『新宿泥棒日記』の上映と、小林達夫、片元亮、向井麻理ら若手監督と、中島貞夫、山根貞男、榎望、林海象らによるトーク。

〔鑑賞者数〕520人(130人／1日)

◆映画テレビ技術協会京都支部受賞作品を見る会

〔共催〕日本映画テレビ技術者協会京都支部

〔期間〕11月29日(金)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕2012年度日本映画テレビ技術者協会撮影賞受賞『わが母の記』の上映。

〔鑑賞者数〕52人(52人／1日)

◆第5回京都ヒストリカ国際映画祭

〔主催〕京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会(株式会社松竹撮影所、東映株式会社京都撮影所、京都府、立命館大学、株式会社東映京都スタジオ、当館)

〔共催〕KYOTO CMEX 2013

〔協力〕BFI、CINETECA BLOGNA等

〔期間〕11月30日(土)～12月8日(日)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕新しい時代劇を模索するべく、『エスケープ暗黒の狩人と逃亡者』(ノルウェイ)、『スウィート・エンジェル』(アメリカ)、『ピー・マーク』(タイ)、『バックルベリー・フィンの冒険』(ドイツ)、『伏 鉄砲娘の捕物帳』(アニメ)等9作品。デジタル復元された『ファラオの恋』等4作品等多様な年代・地域・ジャンルの歴史映画を上映。滝田洋二郎、原田真人、デヴィッド・ロビンソンの講演会も開催。

〔鑑賞者数〕1,062人(133人／1日)

◆大島渚監督一周忌・追悼イベント

〔共催〕大島渚追悼イベント実行委員会

〔期間〕2014年1月26日(日)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕2013年1月15日に亡くなられた京都出身の大島渚監督を偲び、英BBCが出資して、京都を主題に、当館も制作協力したドキュメンタリー映画『Kyoto, my mother's place』上映と大島監督夫人で女優の小山明子さんのトーク。

〔鑑賞者数〕554人(554人／1日)

◆『夢を生きる～テイラー・アンダーソン物語』上映会

〔共催〕アメリカ領事館、関西アメリカンセンター

〔期間〕3月1日(土)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕JETプログラムで宮城県石巻市に赴任中に東日本大震災に遭い亡くなられたテイラー・アンダーソンさんのドキュメンタリー映画『夢を生きる～テイラー・アンダーソン物語』の上映とレジー・ライフ監督によるトーク。

〔鑑賞者数〕37人(37人／1日)

◆ぶんぱく青春映画祭 ヨリ道ノススメ3

〔助成等〕文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

〔協力〕京都アニメーション、立誠シネマ・プロジェクト、京都みなみ会館

〔期間〕3月1日(土)～30日(日)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕若年層に日本映画に親しんで貰うことを目的に、『教室の子供たち』『けんかえれじい』『グスコブドリの伝説』『涼宮ハルヒの消失』等、所蔵する古典名作映画から近作、アニメ作品まで47作品の青春映画を上映。地域の立誠シネマでは宮崎駿、高畑勲初期アニメ作品を、みなみ会館では『19歳の地図』等をオールナイト上映。

〔鑑賞者数〕3,191人(128人／1日)

◆「撮影監督宮川一夫コレクションの保存とデジタル化の試み」講演会とディスカッション

〔共催〕立命館大学アトリサーチセンター

〔期間〕3月22日(土)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕京都の映画撮影監督宮川一夫の遺した資料のデジタル化に際しての問題点について、角川書店の田中重幸、日本シナリオ作家協会著作権委員会長の佐伯俊道、東京都写真美術館保存科学専門員の山口孝子の講演とディスカッション。

〔鑑賞者数〕130人(130人／1日)

② 映画製作者・研究者・専門家向け普及事業

◆【日本映像学会関西支部第35回夏期映画ゼミナール

2013】時代劇再考 ―全盛期から転換期へ―

〔共催〕京都府、日本映像学会関西支部

〔期間〕8月3日(土)～5日(月)

〔会場〕京都府立ゼミナールハウス

〔内容〕「時代劇再考―全盛期から転換期へ―」と題し、『小島の春』『江戸最後の日』『東海道四谷怪談』『斬る』『この首一万石』等9作品の上映とシンポジウム

〔参加者数〕61人

◆第8回映画フィルム復元ワークショップ

〔共催〕NPO法人映画保存協会、神戸映画資料館、大阪芸術大学、プラネット映画資料図書館、玩具映画

プロジェクト

〔協力〕国際オリンピック委員会、日本オリンピック委員会、東宝株式会社、崑プロ、東京国立近代美術館フィルムセンター、コダック株式会社、オーディオメカニックス社、(株)IMAGICA、富士フィルム株式会社、報映産業株式会社

〔期間〕8月24日(土)～25日(日)

〔会場〕本館3Fフィルムシアター

〔内容〕映画フィルムの復元についての講座と実習を行う。あわせて近年復元された『孫悟空物語』『村祭』『春の唄』『東京オリンピック』の上映。

〔参加者数〕220人

◆第6回京都映画若手才能育成ラボ(Kyoto Filmmakers Lab 2013)

〔共催〕京都府、東映京都撮影所、松竹京都撮影所
〔特別協力〕映像産業推進機構京都事務所、(株)ディレクターズ・ユニブ
〔期間〕12月6日(金)～12日(木)
〔会場〕東映京都撮影所、松竹撮影所、当館
〔内容〕世界各国から若手映画作家を招き、東映、松竹の両撮影所で5分の短編時代劇2作品を製作する

合宿形式のワークショップ(公用語：英語)。web公募の結果、41カ国100名の応募があった。審査の結果、外国人11名、日本人9名の若手作家20名が審査を通過(日本、アメリカ、タイ、アルゼンチン、リトアニア、インド、デンマーク、ハンガリー、チリ、スペイン、イギリス、オーストラリア)。撮影所見学、殺陣講座の他、京都ヒストリカ国際映画祭にも参加。
〔参加人数〕19名

III-3 映画 ▶ 2) 特別企画・共催事業

③ 子ども向け普及事業

◆「あなたもCMディレクターになれる！」スマートフォンによる映像製作ワークショップ

〔助成等〕文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ
〔共催〕NPO法人キンダーフィルムフェストきょうと
〔協力〕(株)ディレクターズ・ユニブ
〔期間〕10月12日(土)、10月14日(月)
〔会場〕当館別館2階講義室
〔内容〕京都文化博物館の展示や重要文化財の建造物、お店(館内ショップ)等をテーマにして、スマートフォン一つで取材・撮影・編集を行い、CM映像を製作。完成したCMを10月14日の当館の開館25周年記念イベントで発表。
〔参加者数〕14名

〔内容〕盲学校の教師、保護者を対象にスマートフォンを使って、オモシロ映像の撮り方、映像記録から映画編集までのワークショップを開催。
〔参加者数〕20名

◆おもしろ映像製作ワークショップ2014

〔助成等〕文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ
〔共催〕NPO法人キンダーフィルムフェストきょうと
〔協力〕(株)ディレクターズ・ユニブ
〔期間〕3月9日(日)、3月15日(土)～3月16日(日)
〔会場〕当館別館2階講義室
〔内容〕今回のワークショップは、①スマートフォンでプロジェクション・マッピング! ②切り絵アニメ、クレイアニメの体験に加えて砂絵アニメまで! ③文博らしく、フィルムで遊んだり、映写機を動かすなども体験。また、手作りのコマ撮りアニメに集中して取り組む2日コースも開催。
〔参加者数〕36名(9日17名、15日14名、16日15名)

◆京都府立盲学校映像製作ワークショップ

〔共催〕京都府立盲学校
〔期間〕12月3日
〔会場〕京都府立盲学校小学部

III-3 映画 ▶ 2) 特別企画・共催事業

④ 大学生向け普及事業

◆インターンシップの受け入れ

平成24年度 前期 立命館大学(映像学部1名)

3) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、映像ホールでの企画上映にあわせて、ポスター・スチル・チラシ等50点前後の資料を随時展示替えしながら公開している。

2013年度は下記のテーマで展示した。

【映像ギャラリー展示資料一覧】

期 間	テ ー マ
2013.4.2～29	映画にみる美男子の魅力現代劇編
2013.5.1～6.2	特撮魂！ 映画職人の夢と汗
2013.6.4～30	追悼 三國連太郎特集上映 特別展「八重の桜」開催記念プレ上映
2013.7.2～8.7	映画に見る美男子の魅力 時代劇篇
2013.8.12～9.29	映画女優 高峰秀子を再考する
2013.10.1～31	京都 きもの 映画 映画に見るきもの文化
2013.11.1～29	新選組生誕150周年記念－幕末京都と新選組
2013.11.30～12.8	第5回京都ヒストリカ国際映画祭
2013.12.10～27	俳優 池部良 特集上映
2014.1.4～2.2	生誕100年記念 早坂文雄の映画音楽世界
2014.2.4～3.2	宝塚歌劇100周年 宝塚歌劇女優と映画
2014.3.4～30	ぶんばく青春映画祭 ヨリ道ノススメ3

4) 京都府映像文化センター運営委員

氏 名	所 属 等	氏 名	所 属 等
中島 貞夫	映画監督	守田 晴美	京都興行協会常任理事
中村 努	シナリオライター	奥谷 三穂	京都府文化芸術振興課長
奈村 協	東映京都撮影所長	荒巻 禎一	内部委員
羽生 清	京都造形芸術大学教授	神山 俊昭	内部委員
森田富士郎	映画撮影監督	青木 完一	内部委員

Ⅲ－４ その他

【常設展の小中高校生の入場料の無料化】

2008年度の開館20周年を機に、次世代を担う子供たちに京都の歴史や文化・芸術に身近に親しんでいただくことを目的として、小中高生の常設展入場料の無料化を始めた。2013年度は5,441人の子供が入場した。

【夜間開館の実施】

来館者の利便性をより高めることを目的として、2008年6月から特別展の開館時間の延長を開始した。毎週金曜日に限り、閉室時間を午後6時から午後7時30分とした。また、各特別展会期中の数回、金曜日の夜間開館にあわせて午後6時から30分程度でギャラリートークを開催している。2013年度の参加者は1,604人であった。

【クールスポット(総合展示室無料開放)の実施】

東日本大震災の影響により、夏の電力需給の逼迫が見込まれたため、京都府では府立の4つの文化施設(当館、堂本印象美術館、山城郷土資料館、丹後郷土資料館)を無料開放する取り組みを行った。当館では、7月2日から9月1日まで、2階総合展示室および3階フィルムシアターの総合展示を無料開放し、22,891人が利用した。

IV 調査研究活動

IV-1 学芸員の活動

1) 研究

【博物館研究費による研究】

- 畑 智子 ・明治期博覧会と京都(2)
西山 剛 ・中近世移行期における京都町人職能知に関する諸史料の総合的研究
植田彩芳子 ・近代日本画研究
村野正景 ・羅城門近辺をめぐる歴史像の再整理—当館所蔵考古資料の有効活用のために2—
橋本 章 ・京の年中行事と伝承文化に関する研究
森 道彦 ・名所風俗図とその粉本に関する研究
長村祥知 ・前近代文献史料の調査・研究—京都文化博物館所蔵・管理・寄託の公家史料を中心に—

【外部研究費・共同研究費等による研究】

- 森脇清隆 ・「撮影監督宮川一夫アーカイヴ・プロジェクト」(日本学術振興会科学研究費 基盤研究C25370193)研究協力者
森 道彦 ・文部科学省科学研究費「板谷家を中心とした江戸幕府御用絵師に関する総合的研究」(2011年度～2016年度 基盤研究(A)／研究課題番号：23242013)(代表者 田沢裕賀・独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館)研究協力者

2) 出演・委嘱

- 畑 智子 ・第13回福知山市佐藤太清賞公募美術展 審査員
・第51回兵庫県展(工芸部門)審査員
・第14回京都現代写真作家展 京都写真ビエンナーレ2013ゲスト審査委員
森脇清隆 ・文化庁芸術選奨推薦委員
・文化庁メディア芸術デジタルアーカイブ事業企画選定委員
・独立行政法人日本芸術文化振興会芸術文化振興基金運営委員会専門委員
・京都国際現代芸術祭プロフェッショナルアドバイザーボード
・京都国際学生映画祭企画検討委員
洲鎌佐智子 ・滋賀県立陶芸の森陶芸館収蔵品収集審査会委員

- 林 智子 ・文化学園大学文化ファッション研究機構 研究員
・福岡県美術展覧会審査員
西山 剛 ・世界人権問題研究センター 嘱託研究員
橋本 章 ・日本民俗学会第29期評議員
・京都民俗学会理事
・大津曳山祭総合調査団調査員
長村祥知 ・東京大学史料編纂所共同研究員(特定共同研究「9・10世紀古文書に関する史料学情報の総合化研究」)
大矢敦子 ・立命館大学衣笠総合研究機構 客員協力研究員

3) 業績

IV-1 学芸員の活動 ▶ 3) 業績

① 論文・著作

- 畑 智子 ・「報告 池大雅美術館旧蔵 佐々木米行コレクションについて」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第26集所収、2014年3月)
- 森脇清隆 ・作品解説『野狐三次』『血煙荒神山』『坂本竜馬』(『第1回京都映像フォーラム・カタログ』所収、第1回京都映像フォーラム実行委員会、2013年11月)
- ・「映像文化の発信地としての京都の文化と歴史」(『時代劇文化の発信地・京都』所収、大石学・時代考証学会編、2014年3月)
- 西山 剛 ・「京都府蔵『常永入道記 写本』の紹介と翻刻」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第26集所収、2014年3月)
- ・「二〇一三年 NHK大河ドラマ 特別展 八重の桜での取り組み」(『文化財レポート』No.27、2014年3月)
- 植田彩芳子 ・「明治末期・大正前期の横山大観—池大雅・与謝蕪村の評価と大観における画風の変化—」(『LOTUS 日本フェノロサ学会機関誌』34号、2014年3月)
- 村野正景 ・「インカの謎がやってきた！ インカ帝国展—マチュピチュ『発見』100年の紹介」(京都ラテンアメリカ研究所『いえらっく』第25号所収、2013年7月)
- ・作品解説分担(学習院・永青文庫・東洋文庫三館連携展示『東洋学の歩いた道』展覧会図録、学習院大学・永青文庫・東洋文庫編、2013年8月)
- ・「竹内(新)家文書絵図類の紹介—「羅城門の記憶展」によせて—」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第26集所収、2014年3月)
- 橋本 章 ・「郷土玩具蒐集家の時代—拙健之助の活動と京都府所蔵「拙コレクション」から—」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第26集所収、2014年3月)
- ・書評 中嶋奈津子著『早池峰岳神楽の継承と伝播』(『京都民俗』30・31合併号 2013年11月)
- 森 道彦 ・「牛馬似絵の意味と機能—中世絵画における畜獣表現と「駿牛図」をめぐる一試論—」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第26集所収、2014年3月)
- 長村祥知 ・「新刊紹介 五味文彦著『鴨長明伝』」(『史学雑誌』122-9、2013年9月)
- ・「木曾義仲の発給文書」(『信濃』65-12、2013年12月)
- ・「西遷した武士団 中国方面」(関幸彦編『武蔵武士団』吉川弘文館、2014年3月)
- ・「西遷した武士団 鎮西方面」(関幸彦編『武蔵武士団』吉川弘文館、2014年3月)
- ・「書評 山本隆志著『東国における武士勢力の成立と展開—東国武士論の再構築—』」(『古代文化』65-4、古代学協会、2014年3月)
- ・「宇野茶道美術館旧蔵の古今和歌集切」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第26集所収、2014年3月)
- 大矢敦子 ・「京都の映像文化とフィルムアーカイブズ」(大石学・時代考証学会編『時代劇文化の発信地・京都』、2014年3月)

IV-1 学芸員の活動 ▶ 3) 業績

② 発表・講演

- 畑 智子 ・「博覧会の時代—八重の生きた近代の京都」2013年NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」講演会、2013年8月10日
- 森脇清隆 ・時代考証学会第3回フォーラム in 京都「映像文化の発信地としての京都の文化と歴史」(講師、東映京都撮影所、2013年6月29日)
- ・時代考証学会第3回フォーラム in 京都「新しい時代劇制作のかたち」パネルディスカッション(講師、東映京都撮影所、2013

年6月29日)

・第7回映画フィルム復元ワークショップ「映画アーカイブの仕事について」(講師、京都文化博物館、2013年8月25日)

・デジタルハリウッド講演会「京都の映画文化—その歴史と創造性」(講師、デジタルハリウッド大阪校、2013年11月3日)

・第1回京都映像フォーラム・シンポジウム「京都映画の原点/現在~京都における映画制作」(講師、京都文化博物館、2013年11月17日)

・京都府盲学校研修会「スマートフォンを使った映像編集」(講師、京都府盲学校、2013年12月4日)

・龍谷大学経営学部京都工芸サロン「京都のものづくりと映画づくり」(講師、龍谷大学、2014年1月29日)

・京都国際現代芸術祭PARASOPHIAアクセスプログラム・レクチャー「アートとエンタテインメントの交錯」(講師、元立誠小学校、2014年2月15日)

・京都府ロケスポット京都・コンテンツツアーリズム情報交換会「ありのままを強みにする~『たまこまーけっと』の事例から」(講師、平安ホテル、2014年2月18日)

西山 剛 ・「幕末京都の活力」(2013年6月26日 福島県立博物館)

・「興衰の職能論」(2014年2月19日、世界人権問題研究センター)

・「時代劇アニメを分析するための方法論に関する予備的考察」(2014年3月8日、時代考証学会)

植田彩芳子 ・「明治末期・大正前期の横山大観—池大雅・与謝蕪村の評価と大観における画風の変化」第34回日本フェノロサ学会年次大会(於：大阪大学中之島センター)2013年9月21日。

村野正景 ・「マチュピチュとインカの謎を紐解いてみよう」(風の旅行社主催トーク&スライドショー/於：ハービスPLAZA 3階旅のセミナールーム/2013年6月15日)

・「Análisis físico-químico sobre ofrendas y objetos encontrados en Tazumal, Chalchuapa, El Salvador」(XXVII Simposio de Investigaciones

Arqueológicas en Guatemala/於：Museo Nacional de Arqueología y Etnología, Guatemala/2013年7月25日)共同発表

・「パブリック考古学の多様性と共通性—東アジアと中米の事例」(日本文化人類学会 研究懇談会 東アジア公共人類学懇談会 2013年度第1回研究会「パブリック考古学とパブリック人類学の対話可能性」/於：京都文化博物館/2013年9月28日)

・「キープを作ろう！」(インカ帝国展鹿児島会場ワークショップ/於：かごしま県民交流センター/2013年10月5日)

・「黄金と呼ばれた中米の藍：マヤ・ブルーからロウケツ染めまで」(平成25年度第2回博物館講座・京都外国語大学国際文化資料館第4回公開講座/於：京都外国語大学/2013年11月9日)

・「細川護立蒐集の青銅器—その魅力と楽しみ方」(公益財団法人永青文庫友の会講演会/於：永青文庫/2013年11月24日)

・「Análisis químico y físico sobre objetos encontrados en los entierros “0” y “1” de Tazumal, Chalchuapa」(V Congreso Centroamericano de Arqueología/ 於：Museo Nacional de Antropología Dr. David J. Guzmán, El Salvador/2013年11月28日)共同発表

・「Resurgimiento de técnica antigua para elaborar cerámica y desarrollo de una nueva artesanía y material educativo -Una práctica de arqueología pública en El Salvador-」(V Congreso Centroamericano de Arqueología/ 於：Museo Nacional de Antropología Dr. David J. Guzmán, El Salvador/2013年11月29日)共同発表

橋本 章 ・平成25年度 第2回歴史学部歴史文化講座「民俗と歴史からみた祇園祭」(2013年10月17日 於：佛教大学常照ホール)

大矢敦子 ・「京都の映像文化とフィルムアーカイブズ」、時代考証学会第3回フォーラムin京都 時代劇文化の発信地・京都 時代劇文化を伝えるために—アーカイブズからみた時代劇のこれまでとこれから、2013年6月30日、於：京都文化博物館

V 普及活動

V - 1 出版物

1) 研究紀要『朱雀』

【『朱雀』第26集】

発行：京都文化博物館

発行日：2014年3月31日

印刷：株式会社 吉川印刷工業所

体裁：B5判、112ページ

編集担当：畑 智子、大川原絵里子

所載記事：

[論攷]

・橋本 章

郷土玩具蒐集家の時代—拙建之助の活動と京都府所蔵「拙コレクション」から—

・森 道彦

牛馬似絵の意味と機能—中世絵画における畜獣表現と「駿牛図」をめぐる一試論—

[報告]

・畑 智子

池大雅美術館旧蔵 佐々木米行コレクションについて

[資料紹介]

・村野 正景

竹内(新)家文書絵図類の紹介—「羅城門の記憶展」によせて—

・西山 剛

京都府蔵『常永入道記 写本』の紹介と翻刻

・長村 祥知

宇野茶道美術館旧蔵の古今和歌集切

2) 年 報

【京都文化博物館2012(平成24)年度年報】

編集・発行：京都文化博物館

発行日：2013年10月31日

印刷：(株)吉川印刷工業所

体裁：A4判、68ページ

編集担当：植田彩芳子、大川原絵里子

3) 展覧会図録

【『京都・美のタイムカプセル』】

体裁：タテ29.7cm×ヨコ21cm、32ページ

編集：京都文化博物館

発行：京都文化博物館

発行日：2013年9月12日

印刷：株式会社大伸社

【『京都府美術工芸新鋭展 ～京都国際現代芸術祭2015への道～』】

体裁：タテ29.7cm×ヨコ21cm、40ページ

編集：京都府、京都文化博物館

発行：京都府、京都文化博物館

発行日：2014年1月4日

印刷：株式会社大伸社

V-2 主催事業・イベント

1) 展覧会関連イベント

開催年月日	講師・所属等	演題・テーマ
2013.4.20	篠田謙一(国立科学博物館人類研究部人類史研究グループ長)／網野徹哉(東京大学大学院総合文化研究科教授)	「インカ帝国展」講演会〈インカの謎を解く！—DNAが解明するインカの起源と甦るインカー〉
4.26	村野正景(当館学芸員)	「インカ帝国展」ギャラリートーク
4.27	湯浅徳子(フェルト作家・ひだまり工房主宰)	「インカ帝国展」ワークショップ〈羊毛でアルパカの指人形を作ろう！〉
5.10	村野正景(当館学芸員)	「インカ帝国展」ギャラリートーク
5.11	芝田幸一郎(神戸市外国語大学准教授)	「インカ帝国展」記念講演会〈早わかりアンデス文明—山と砂漠と世界遺産〉
5.24	村野正景(当館学芸員)	「インカ帝国展」ギャラリートーク
5.25	村野正景(当館学芸員)	「インカ帝国展」ワークショップ〈キープを作ろう！〉
6.1	瀬木貴将(サンポーニャ&ケーナ)／佐山こうた(ピアノ)	「インカ帝国展」記念コンサート〈瀬木貴将 マチュピチュの夜明け〉
6.7	村野正景(当館学芸員)	「インカ帝国展」ギャラリートーク
6.29	橋本 章(当館学芸員)	「NHK大河ドラマ特別展 八重の桜」歴史散策〈八重が生きた京都をめぐる〉
7.13	西山 剛(当館学芸員)	「NHK大河ドラマ特別展 八重の桜」ギャラリートーク
7.14	小枝弘和(同志社大学同志社史資料センター 史資料調査員)	「NHK大河ドラマ特別展 八重の桜」講演会〈近代京都における同志社開校とそれを取り巻く人々〉
7.19	筒井紘一(茶道資料館副館長・今日庵文庫長)	「NHK大河ドラマ特別展 八重の桜」講演会〈新島八重の茶事記〉
7.19	西山 剛(当館学芸員)	「NHK大河ドラマ特別展 八重の桜」ギャラリートーク
8.2	西山 剛(当館学芸員)	「NHK大河ドラマ特別展 八重の桜」ギャラリートーク
8.10	畑 智子(京都文化博物館 学芸課長)	「NHK大河ドラマ特別展 八重の桜」講演会〈博覧会の時代 —八重の生きた近代の京都—〉
8.16	西山 剛(当館学芸員)	「NHK大河ドラマ特別展 八重の桜」ギャラリートーク
8.17	東 朝子(音楽家)	「NHK大河ドラマ特別展 八重の桜」音楽会〈八重の聴いた音楽 —近代歌曲の調べ—〉
8.30	西山 剛(当館学芸員)	「NHK大河ドラマ特別展 八重の桜」ギャラリートーク
9.15	名和 修(公益財団法人陽明文庫長)	「近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝3」記念講演会〈近衛家陽明文庫と「御堂関白記」〉
9.27	橋本 章(当館学芸員)、森 道彦(当館学芸員)	「京都・美のタイムカプセル」ギャラリートーク
10.18	植田彩芳子(当館学芸員)、洲鎌佐智子(当館学芸員)	「京都・美のタイムカプセル」ギャラリートーク
11.8	林 智子(当館学芸員)、植山 茂(当館学芸員)	「京都・美のタイムカプセル」ギャラリートーク
12.11	金剛流能楽師 宇高竜成、宇高德成	「羅城門の記憶」関連イベント〈羅生門を謡う〉
12.22	安田晴美(美術史家・福知山市佐藤太清記念美術館顧問・佐藤太清の孫)	「生誕100年 佐藤太清展」スペシャルギャラリートーク
2014.1.4	安田晴美(美術史家・福知山市佐藤太清記念美術館顧問・佐藤太清の孫)	「生誕100年 佐藤太清展」スペシャルギャラリートーク
1.5	稲村なおこ、川口京子、土屋朱帆、エルフェ女声合唱団(歌)／伊藤幹翁(指揮)／諸岡由美子(チェロ)／長谷川美佐子(ピアノ)／伊藤弘子(朗読)／安田晴美(お話)	「生誕100年 佐藤太清展」〈新春記念コンサート〉
1.10	植田彩芳子(当館学芸員)	「生誕100年 佐藤太清展」ギャラリートーク
1.11	中路融人(日本画家・文化功労者)／安田晴美(美術史家・福知山市佐藤太清記念美術館顧問・佐藤太清の孫)／植田彩芳子(当館学芸員)	「生誕100年 佐藤太清展」〈特別座談会「佐藤太清の世界」〉
1.11	安田晴美(美術史家・福知山市佐藤太清記念美術館顧問・佐藤太清の孫)	「生誕100年 佐藤太清展」スペシャルギャラリートーク
1.12	安田晴美(美術史家・福知山市佐藤太清記念美術館顧問・佐藤太清の孫)	「生誕100年 佐藤太清展」スペシャルギャラリートーク
1.19	佐藤雅子(詩人・佐藤太清の長女)／安田晴美(美術史家・福知山市佐藤太清記念美術館顧問・佐藤太清の孫)	「生誕100年 佐藤太清展」〈対話型絵画鑑賞教室「ボエムの時間」〉
1.19	安田晴美(美術史家・福知山市佐藤太清記念美術館顧問・佐藤太清の孫)	「生誕100年 佐藤太清展」スペシャルギャラリートーク
1.31	植田彩芳子(当館学芸員)	「生誕100年 佐藤太清展」ギャラリートーク
2.1	出品作家 17名	「京都府美術工芸新鋭展」出品作家によるギャラリートーク
2.8	安田晴美(美術史家・福知山市佐藤太清記念美術館顧問・佐藤太清の孫)	「生誕100年 佐藤太清展」スペシャルギャラリートーク
2.8	出品作家 16名	「京都府美術工芸新鋭展」出品作家によるギャラリートーク
2.9	安田晴美(美術史家・福知山市佐藤太清記念美術館顧問・佐藤太清の孫)	「生誕100年 佐藤太清展」スペシャルギャラリートーク

2) その他のイベント

V-2 主催事業・イベント ▶ 2) その他のイベント

① 祇園祭協賛事業 祇園祭ミュージアムコンサート

【祇園祭ミュージアムコンサート—音楽の玉手箱—】

日時：2013年7月14日、15日

主催：京都文化博物館・京の三条まちづくり協議会

後援：京都文化博物館友の会・京都文化博物館ろうじ
店舗博和会

会場：京都文化博物館 別館ホール

演奏者：

7月14日 Cats & Doll <ジャズ>

タンゴ四重奏～アストロリコ選抜メンバー
による <アルゼンチンタンゴ>

ふら～っとオールスターズ <ジャズ>

くろじん↑ <ポップス>

足立恵二トリオ

<ジャズ、ポップス、フュージョン>

ニューサウンズ・コンボ <ジャズ>

アンサンブル・テオフィール <室内楽>

カケラバンク

<アコースティック・ポップス>

アンサンブルグループRin<室内楽・ジャズ>

7月15日 千住明/合唱「世界がひとつの家族のように」

<京都府人権啓発イメージソング>

Uliuli Band & Pukamaikala(ウリウリバンド
& プカマイカラー) <ハワイアン>

Drak Skip

<アコースティックインストゥルメンタル・北欧伝統音楽>

サントロペーの仲間達

<シャンソン&カンツォーネ>

Purities(ピューリティーズ)

<アメリカンフォークソング、ポピュラー>

Yasu & Suso <ジャズ・ギターデュオ>

LASSIE(ラッシー)

<オールドタイムミュージック

J.Pickers <アメリカン・フォークソング>

満月堂 <フォークソング>

ニューシャープハードオーケストラ

<ジャズ、ポップス>

入場者：6,364人

【同志社女子大学音楽専攻科生による特別展「八重の桜」 記念コンサート】

日時：2013年7月16日 午後2時～

主催：京都文化博物館

後援：京都文化博物館友の会・京都文化博物館ろうじ
店舗博和会

会場：京都文化博物館 別館ホール

演奏者：同志社女子大学音楽専攻科生

入場者数：350人

【第24回宵山に箏曲を聴く夕べ】

日時：2013年7月16日 午後6時～

主催：京都文化博物館

後援：京都文化博物館友の会・京都文化博物館ろうじ
店舗博和会

会場：京都文化博物館 別館ホール

演奏者：生田流宮城社麗調会社中(箏曲演奏)

入場者数：2,577人

*祇園祭協賛事業として開催し、午後8時30分まで別館の開館時間を延長した。

V-2 主催事業・イベント ▶ 2) その他のイベント

② その他のコンサート

開館25周年記念 京都文化博物館オータムフェスティバル

主催：京都文化博物館ろうじ店舗博和会

共催：京都文化博物館

協力：FM京都(α-Station)

会場：京都文化博物館 別館ホール

演奏者：旭堂小二三(講談)、和紗(ポップス)、ニュー
シャープハード・オーケストラ(ジャズ)、京都文化博
物館次世代育成ワークショップ CM発表会

入場者数：330人

V-3 学習普及活動

1) ボランティア

2011年7月9日のリニューアルオープンに伴い始まったボランティア活動であるが、現在(2013年度)195名のボランティアが活動するに至っている。ボランティアは“ぶんぱくボランティアガイド”と“アソシエイトボランティア”の2つに大きく分かれ、“ぶんぱくボランティアガイド”は2階総合展示室の案内をおこなう“フロアスタッフ”と音楽会や講演会、ワークショップなどのイベントサポート業務をおこなう“イベント・サポートスタッフ”からなる。

フロアスタッフは日本語70名、英語38名、中・韓・西・仏のその他の外国語8名の116名が朝10時から夜7時30分までの間、3交代制で活動をおこなっており、その他の外国語は事前予約があれば対応となっている。

イベント・サポートスタッフは26名おり、イベントのサポート業務にとどまらず企画もおこなっている。今年度はぶんぱく子ども教室として「館内ぐるぐる探検ツアー」「自分だけのステキな“うちわ”をつくろう」「ぶんぱく子ども展覧会」「作った！入った！竹のけん玉」「ぶんぱくでひな祭り」を企画・運営した。

アソシエイトボランティアは53名おり、博物館の広報活動への協力や臨時のサポート、館への意見等をもらうなどの活動をおこなっている。

今年度は、「祇園祭」「羅城門」「近代の京友禅」など通史以外の総合展示室や特別展の研修以外に、昨年引き続き、館外研修が10月23日と26日の2日にわかれて開催された。行き先は“兵庫県立考古博物館”。研修には77名のボランティアが参加し、ボランティア同士の交流をはかるとともに歴史・文化に関する知識を深めた。

活動が始まって2年が経つこともあり、ボランティア主催の自主勉強会やフィールドワークも活発に開催され、ブラッシュアップにつとめている。



ボランティア研修の様子

2) 「ぶんぱく子ども教室」事業

今年度からは学習普及・外部連携室が軸となり、学芸員の企画による、あるいはボランティアスタッフが主体となって企画運営をおこなう「ぶんぱく子ども教室」の活動を行った。また今年度は「平成25年度文化芸術振興費補助金(文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業)ミュージアム活性化支援事業」の補助を受け開催した。

子ども教室は、博物館の魅力を一人一人がじっくりと堪能できる機会とするため少人数募集にて行っている。

学習・普及連携室チーム(洲鎌佐智子、森道彦、長村祥知、高桑鉄則、田中真希代)

【第1回/夏休み!ぶんぱく京力隊講座

～“お宝”調査隊～

日時：2013年8月1日(木) 午後2時～4時

担当者：当館学芸員

参加人数：16名+大人6名

実施目的：

- ①京都文化博物館を知ってもらう。
- ②博物館がどういうところかを知ってもらう。
- ③博物館に親しんでもらい、博物館をより身近に感じてもらう。
- ④新しい友達や仲間づくりを通じて、社会性を養ってもらう。

- ⑤ボランティアスタッフの発案、準備、実施による事業として、ボランティアの自発性の育成を図る。

【第2回／館内ぐるぐる探検ツアー】

日時：2013年8月3日(土) 午後2時～4時

担当者：イベント・ボランティア

参加人数：19名+大人8名

実施目的：

- ①京都文化博物館を知ってもらう。
- ②博物館がどういうところかを知ってもらう。
- ③博物館に親しんでもらい、博物館をより身近に感じてもらう。
- ④新しい友達や仲間づくりを通じて、社会性を養ってもらう。
- ⑤ボランティアスタッフの発案、準備、実施による事業として、ボランティアの自発性の育成を図る。

【第3回／夏だ！納涼！

自分だけのステキな“うちわ”をつくろう！

日時：2013年8月11日(日)

1回目 午前10時30分～正午

2回目 午後2時～4時

担当者：イベント・ボランティア

参加人数：(1回目)16名(2回目)18名

実施目的：

- ①消えつつある団扇という道具に興味をもってもらおう。
- ②団扇にはさまざまなものがあり、京都をはじめ各地で作られ、用いられていることを知ってもらう。
- ③団扇の構造を知り、主に素材が竹であることの原因や、自分たちでもつくれることを知ってもらう。
- ④自分たちでさまざまな工夫をこらせる団扇作りを楽しんでもらおう。

【第4回／光のアートワークショップ

あんどんに絵を描いて夜の姉小路に並べてみよう！】

日時：2013年8月24日(土) 午後5時～

担当者：洲鎌佐智子

参加人数：10名+大人8名

実施目的：

- ①パステルや油彩・岩彩などを使って描き、光があたった時の色合いの違い・変化を知ってもらう。
- ②でき上がった作品をスタッフや回りの子達と交流しながら鑑賞する事で、社会性・協調性を養ってもらう。
- ③完成後は地域の方の作品と一緒に姉小路に一同にならべ展示。このイベントを通して博物館ならびに地域行事にも親しんでもらう。

【第5回／ぶんぱく子ども展覧会】

日時：2013年11月10日(日) 午前10時～午後3時30分

担当者：イベント・ボランティア

参加人数：3名+大人2名

実施目的：

- ①博物館の仕事の一端を知ってもらう。
- ②展示がどのような手順で行われているかを知ってもらい、展示そのものにも興味をもってもらおう。
- ③ボランティアスタッフの発案、準備、実施による事業として、ボランティアの自発性の育成を図る。

【第6回／作った！入った！竹のけん玉】

日時：2013年11月24日(日) 午前10時30分～正午

担当者：イベント・ボランティア

参加人数：5名+大人5名

実施目的：

- ①竹のけん玉作りを通して、竹の歴史や文化、産業などを知ってもらう。
- ②竹と京都との関わりを知ることで、身近に感じ、親しんでもらう。
- ③道具(ノミやノコギリ等)の基本的な使い方を作成しながら経験してもらう。
- ④自分で一から作ることで達成感を得ることができ、またスタッフや回りの子達と交流しながら社会性・協調性を養ってもらう。
- ⑤ボランティアスタッフの発案、準備、実施による事業として、ボランティアの自発性の育成を図る。

【第7回／画家さんといっしょに、日本画を描こう！】

日時：2014年1月12日(日)

午前10時30分～午後12時30分

外部講師：鶴飼雅樹(日本画家)

担当者：植田彩芳子

参加人数：13名+大人9名

実施目的：

- ①絵画、特に日本画に親しんでもらう。
- ②日本画家の先生に教えてもらうことで、学校とは違う技法、描き方等を知ってもらう。
- ③京野菜等のモチーフを描くことで、物を丁寧にみることを知ってもらう。
- ④でき上がった作品をお互いに鑑賞することで、絵画の鑑賞に親しんでもらう。
- ⑤日本画家の先生との交流や、新しい友達づくりを通じて、社会性を養ってもらう。

【第8回／京都の色はどんな色？

土で絵の具を作ってみよう！】

日時：2014年1月18日(土) 午前10時30分～正午

担当者：村野正景

参加人数：13名+大人約10名

実施目的：

- ①どこでも手に入る身近なもので、簡単に絵の具がつくれてしまうという驚きと楽しさを知ってもらう。
- ②土に直接触れたり、よく観察したりする機会をつくり、身近な土、ひいては身近な環境へ興味を喚起する。
- ③参加者同士(子と親、子供同士など)での対話の機会をつくり、ワークショップを通じて、人間間の交流を深めてもらう。

【第9回／餅・もちワークショップ】

日時：2014年2月9日(土) 午後2時～4時

担当者：洲鎌佐智子

参加人数：多数

実施目的：旧正月にちなんで、餅という素材をもとに地域の人と協働して、博物館にやってきた子どもたちを迎え、楽しい体験してもらうというものである。

【第10回／ぶんぱくでひな祭り

～おひな様のお話と工作～】

日時：2014年2月16日(日)

①午前10時～ ②午後2時～

担当者：イベント・ボランティア

参加人数：①13名+大人6名 ②7名+大人3名

実施目的：

- ①ひな祭りの歴史や文化を知ること、日本の伝統行事の素晴らしさを感じてもらい、興味を持ってもらう。
- ②ひな人形を自分で作ることで、ひな祭(ひな人形)をこれまでよりも身近に感じてもらう。
- ③このイベントを通して博物館に親しんでもらう。
- ④ボランティアスタッフの発案、準備、実施による事業として、ボランティアの自発性の育成を図る。

【第11回／昔の"お手紙"体験】

日時：2014年3月1日(土) 午後2時～4時

担当者：長村祥知

参加人数：6名

実施目的：

- ①和紙と筆を用い、さらに現代とは少し異なる動作・規則を経験することで、歴史や古文書を身近に感じる。
- ②手紙の執筆という体験を通して、モノを介して意思を伝達するという行為の意味を考える。



「ぶんぱく子ども教室」の様子

3) 団体見学案内

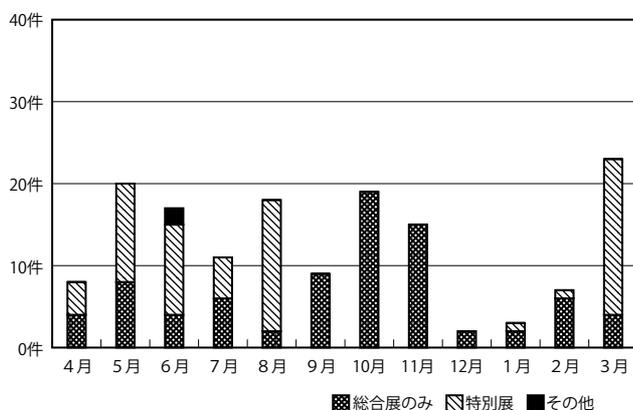
個人での来館とは別に、数人から100人程度のグループによる来館がある。これに対しては、事前の申し出があれば施設、総合展示、特別展等の解説に応じている。2013年度の来館件数は152件であった。このうち解説を行ったのは、51件である。団体来館は学校の授業、修学旅行などの行事の一環として行われることが主体で、全体の半数をしめるが、各種の文化サークルや団体旅行での訪問も多い。学校の区分では大学が一番多く、中学校がつづく。

本年度は、3月・5月の団体申し込みが多く、特に3月は昨年より19件多い申し込みがあり、その多くが特別展「光の賛歌 印象派展」目的であった。一方で、9月～11月は総合展示目的の申し込みが全体を占めている。これは京都文化博物館開館25周年、京都府立総合資料館開館50周年を記念した、京都府所蔵の「美のタイムカプセル」が開催されていたからであり、京都府が所蔵する絵画から郷土玩具までの幅広い展示に対し、多くの興味・関心がよせられていた事が伺える。

【2013年度団体見学案内件数】

2013年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	180	675	405	398	604	235	1029	473	63	64	147	605	4878
来館件数	8	20	17	11	18	9	19	15	2	3	7	23	152
解説件数	5	5	6	8	3	2	4	6	2	2	3	5	51

【月別申込み件数】



【団体種類別件数】

団体	件数
小学校	12
中学校	14
高校	13
専門学校	0
大学	21
支援学校	5
一般	87
合計	152

V - 4 博物館実習

【実施期間】

8月5日(月)～8月9日(金)

【実習生】

京都府立大学…………… 2名
立命館大学…………… 4名
京都造形芸術大学…………… 2名
京都外国語大学…………… 2名
京都文教大学…………… 1名
京都女子大学…………… 1名
京都教育大学…………… 1名
京都精華大学…………… 1名
立教大学…………… 1名
鳥取大学…………… 1名
奈良女子大学…………… 2名
神戸大学…………… 1名(計19名)

【実習内容／担当者】

- ・博物館の概要・館内見学／植山 茂、畑 智子、林 智子
- ・映像資料について／森脇清隆、大矢敦子
- ・染織資料について／林 智子
- ・美術資料について／植田彩芳子、森 道彦
- ・工芸資料について／洲鎌佐智子
- ・文献資料について／西山 剛、長村祥知
- ・考古資料について／村野正景、植山 茂
- ・民俗資料について／橋本 章
- ・楽器資料について／植山 茂
- ・学習普及活動について／長村祥知、森 道彦
- ・展覧会事業／展示環境について／畑 智子
- ・まとめと反省／全担当学芸員

V - 5 資料・情報公開

1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像など多分野にわたり、現在単行本約78,270冊、逐次刊行物約3,150タイトル(76,070冊)を収蔵している。なかでも埋蔵文化財の発掘調査報告書が約33,300冊、展覧会図録が約13,470冊と多く、また、映画のシナリオを約12,000冊収蔵しているのも特徴である。これらの

図書資料については、研究目的で特に閲覧を希望する者に対して公開している。なお、本年度の書籍の受け入れ数は約2,280件であり、その内、埋蔵文化財発掘調査報告書が約560冊、展覧会図録が約280冊、年報・紀要類が約430冊であった。

2) ホームページによる広報とコンテンツの提供

Twitterにて展覧会情報を発信することで、地域や性別、年齢層に広がりがでてきたと思われる。アクセス数も年々増加し、広報ツールとしてさらにwebサイトへの期待が高い。

2013年度の特徴として特別展へのアクセス数が昨年より伸びている。その他、交通機関、特別展スケジュー

ール、フィルムシアターへのアクセスが上位を占めている。さらに親しみやすいホームページを目指していく。

【ホームページの利用状況】

2013年度	総 数	一日平均
アクセス数	947,360	2,596
ページビュー	2,841,506	7,785

2013年度	
内訳上位	
1. トップページ	685,041 (24%)
2. 特別展	504,036 (18%)
3. 地図交通機関	178,260 (6%)
4. 特別展スケジュール	132,714 (5%)
5. 映像ホール	126,221 (4%)

V - 6 外部連携活動

1) 他館との連携

V-6 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

① 京都市内4館連携協力協議会

京都国立近代美術館、京都国立博物館、京都市美術館、京都文化博物館の4館による連携協力及び館運営にかかる情報交換を円滑におこなう目的で、京都市内4館連携協力協議会(「京都ミュージアムズ・フォー」)が2009年6月12日に発足した。2013年度は、「京都ミ

ュージアムズフォー連携講座」(年間4回、各館持ち回り)を開催したほか、4館合同で各館の年間スケジュールを掲載したリーフレットを作成し、あわせてスタンプラリー、各館友の会会員の相互割引制度を実施した。

V-6 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

② 事業協力

【「関西文化の日」事業への連携】

関西広域連携協議会、関西元気文化圏推進協議会主催の本事業に、2013年11月16日、17日の両日協力した。総合展示を無料開放し、2日間で1,943人の方々にお越しいただいた。

【「ミュージアムぐるっとパス関西2013」への参加】

関西の2府4県(大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山)を中心とした合計59施設で利用が可能な「ミュージアムぐるっとパス関西2013」事業に参加した。主催は前述の59施設で組織する「ミュージアムぐるっとパス関西2013」実行委員会である。パスを購入すると、対象施設で入場が無料となるなど様々なサービスが受けられる。当館については、総合展示入場料が無料、特別展示入場料が前売り料金となる特典を設定した。2013年度の当館での利用者数は、総合展示323人、特別展示216人であった。

2) 地域との連携

【「きものの似合うまち・京都」づくり推進事業への協力】

今年も昨年に引き続き、10月1日から12月25日まで、本事業に協力した。きものを着用した来館者に対する割引事業で、当館では総合展示入場料を無料、特別展示入場料を前売り料金に割引している。期間中のきもの着用者は453人であった。

本事業は京都府、京都市、京都商工会議所、公益財団法人京都和装産業振興財団、京都織物卸商業組合、西陣織工業組合、京友禅協同組合連合会、西陣織物産地問屋協同組合、京染卸商業組合の9団体で構成する「きものの似合うまち・京都」実行委員会の主催事業であり、2001年度から始められたものである。

V-7 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術、工芸、映像等に興味を持つ人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館活動に協力することを目的とする。

1) 会 員

【会員の特典】

- ・会員証で特別展・常設展(映画鑑賞含む)の無料での鑑賞(B会員は特別展2回まで無料、3回目からは団体料金)
- ・会員同伴者5名様まで入場料20%割引(B会員は同伴者1名まで)
- ・当博物館発行の出版物の割引
- ・友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・催事案内や各種行事案内等の送付
- ・当館会員証で京都国立博物館、京都国立近代美術館、京都市美術館の特別・常設展が団体料金に割引

【会 費】

- ・A会員 年会費6,000円
- ・グループ会員(2名以上) 年会費5,000円/1名
- ・B会員 年会費4,000円

【会員の概要】

会員は、個人会員をA会員、また総合展示室・フィルムシアターの観覧を中心とするB会員、2名以上で入会するグループ会員の三つの区分に分け運営を行っている。

●会員数の推移

	(単位：名)		
	2013年度	2012年度	2011年度
A会員	424	445	459
グループ会員	212	228	214
B会員	259	214	139
計	895	887	812

●新規加入者数

	(単位：名)	
A会員	80	
グループ会員	50	
B会員	170	
計	300	

●年齢分布

	(単位：名)
10代	1
20代	18
30代	40
40代	58
50代	139
60代	286
70代	252
80代	96
90代以上	5
不明	0
最高齢	95
平均	64.52歳

●男女構成

	(単位：名)	
	男性	女性
A会員	68.6%	31.4%
グループ会員	40.6%	59.4%
B会員	60.6%	39.4%
計	59.7%	40.3%

A 会員、グループ会員は昨年より減少したが、B 会員については昨年同様会員の増加につながった。なお、A 会員、グループ会員からも若干ではあるが B 会員への移行も見られた。

また、B 会員は比較的廉価なため、20～30代の新規加入を期待しているが、高齢者層の新規加入が多くなっている。

今後は、さらなる新規会員の獲得を目指すとともに、既会員はもちろん今年度新たに入会した会員に対して次年度以降も継続して加入してもらえよう、友の会事業の内容の充実とサービスの向上を図りたい。

●職業

	(単位：名)
会社員	143
公務員	32
教員	28
自営業	73
自由業	23
学生	13
その他	68
無職	515

●住所分布

	(単位：名)
京都市内	638
京都府内	74
近畿圏内	168
その他の府県	15
(近畿圏内の内訳)	
大阪府	94
兵庫県	36
滋賀県	29
奈良県	8
和歌山県	1
計	168

2) 事業概要

V-7 京都文化博物館友の会 ▶ 2) 事業概要

① 文化講座・見学会等

【文化講座「こもんじょ友の会」】

日時：2014年3月15日(土) 午後1時30分～3時
 場所：京都文化博物館 本館2階 総合展示室内研修室
 講師：長村 祥知(当館学芸員)
 参加者：20名

【見学会「京都名所散策シリーズ

～『都名所図会』を読み解く～③】

日時：2013年9月1日(日) 午前10時～12時
 場所：北野天満宮～平野神社
 講師：森 道彦(当館学芸員)
 参加者：16名



見学会「京都名所散策シリーズ
 ～『都名所図会』を読み解く～の様子

【見学会「京都名所散策シリーズ

～『都名所図会』を読み解く～④】

日時：2013年12月7日(土) 午前1時30分～4時
 場所：東寺～羅城門址周辺
 講師：村野 正景(当館学芸員)
 参加者：24名

V-7 京都文化博物館友の会 ▶ 2) 事業概要

② その他

【「友の会通信」発行(毎月)】

会員への情報発信と来館促進のため、「友の会通信」を発行。

VI ギャラリー事業

VI-1 5・6階展示室

1) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室及び京都府立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名(染織・陶芸・木工芸各1名)、書2名(仮名・

漢字各1名)、写真1名の計13名で、展示室の使用を希望する美術・工芸作家などの作品について審議している。

2012年度の委員会は以下のとおり開催した。

【開催日一覧】

委員会開催日	審議対象期間	件数
2013年 6月25日	2013年12月～2014年 3月	13
11月12日	2014年 4月～2014年 7月	17
2014年 2月25日	2014年 8月～2014年11月	16

2) 美術・工芸作家の利用

当館では、開館以来5階展示室に、又6階においては1997年7月より美術・工芸作家が利用できる場を設けている。利用期間を原則として毎月1週間以内と定め、府内に活動の本拠を持つ作家及び府内にゆかりのある作家に限定している。展示作品は、絵画・彫刻・

工芸・書・デザイン・写真・華道などのジャンルで、内容の充実しているものとし、利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議して決定している。

2013年度の利用件数は、43件であった。

【作家利用一覧】

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
2013 4.18～ 4.21	湖沼山河—山口賛治油彩画展	洋画	9.25～ 9.29	第14回 dpi展	写真
4.25～ 4.29	湯浅三郎個展	日本画	10. 4～ 10. 6	絵更紗美術協会会員作品展	染織
4.25～ 4.29	第37回 日本画春季光文展	日本画	10.23～ 10.27	平成24年度 京の名工展 併催 若手職人「京もの認定工芸士」作品展	工芸総合
4.25～ 4.29	第21回 光軸能面會展	諸工芸	10.30～ 11. 4	IMA琳派 重岡良子展	日本画
5. 1～ 5.12	齋藤真成展	洋画	11.20～ 11.24	第25回 工芸美術 創工会展	工芸総合
5. 2～ 5. 6	京都創造藝術協會展	美術総合	11.27～ 12. 1	第14回 京都現代写真作家展 京都写真ビエンナーレ2013	写真
5.15～ 5.19	第25回 京都書作家協会会員展	書	12.10～ 12.15	芹生芳郎展	洋画
5.28～ 6. 2	第31回 明日をひらく絵画 上野の森美術館大賞展関西展	洋画	12.11～ 12.15	第33回 聚英展	書
6.19～ 6.23	第17回 種々展	日本画	12.12～ 12.15	第6回 書の森展	書
6.19～ 6.23	第68回 京都丹平写真展	写真	12.19～ 12.23	祈りの道 二人展	日本画
6.19～ 6.23	芽生展	日本画	12.19～ 12.23	第22回 帆の会展	洋画
7. 3～ 7. 7	2013京都日本画家協会 第1期展	日本画	12.21～ 12.23	第18回 小椋会織物展 志村ふくみ門下生による	染織
7.23～ 7.28	第5回 The NIHONGA—伝統と創造—	日本画	2014 1.30～ 2. 2	第35回 京都現代書藝展	書
7.23～ 7.28	洛中写真組	写真	2. 7～ 2. 9	2013年度 京都橘大学 卒業制作展	書
7.23～ 7.28	第一美術関西サムホール展	美術総合	2.18～ 2.23	第一美術関西サムホール展	美術総合
8.27～ 9. 1	第4回「独楽の会」日本画作品展	日本画	2.20～ 2.23	水明書道会 第8回 墨聚展	書
8.28～ 9. 1	第32回 六響会篆刻作品展	書	3.21～ 3.23	面匠会第23回京都能面展	諸工芸
9. 6～ 9. 8	第33回 辛酉会書展	書	3.26～ 3.30	第57回 あまがつ会人形展	諸工芸
9.19～ 9.23	第4回 日本画洛展	日本画	3.26～ 3.30	藤井堪介展	日本画
9.19～ 9.23	書 一九月の会—	書	3.26～ 3.30	大森俊次 旅の風景 水彩画展	洋画
9.19～ 9.23	第18回 京都ファインドアイ現代・文人光画展	写真	3.26～ 3.30	第21回新日美京都支部展	美術総合
9.25～ 9.29	第24回 光風工芸「明日へのかたち展」	工芸総合		計 43件(124日間) 47,393人	

【作家利用分野別件数・入場者数一覧】

	美術						工芸				美術 工芸 総合	総計
	日本画	洋画	書	写真	彫刻	美術総合	染織	陶芸	諸工芸	工芸総合		
使用件数	11	6	9	5	0	4	2	0	3	3	0	43
割合(%)	26%	14%	21%	12%	0%	9%	5%	0%	7%	7%	0%	100%
入場者数	11,737	5,945	9,187	7,700	0	2,813	1,006	0	2,263	6,742	0	47,393
1件平均入場者数	1,067	991	1,021	1,540	0	0	503	0	754	2,247	0	1,102

*諸工芸には、彫刻・能面・人形・七宝・漆芸を含む。

3) 生涯学習的発表期間の利用

1998年より、5階・6階各展示室に生涯学習的発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用に準ずる利用期間として、美術・工芸作家及び技能芸能継承者の指導するグループの発表期間を設けたものである。

【生涯学習利用展覧会別入場者数一覧】

	会期	展覧会名	分野	入場者数
5階	2013 4.4～4.7	QUILT HOUSE あんだんて 25周年記念 パッチワーク・キルト作品展	諸工芸	2,013
	4.11～4.14	22th押し花アート展・華やぐレカンフラワー展 煌めくクラフト展・素敵なニット展	諸工芸	1,269
	5.23～5.26	三回忌 小峰鐵彰遺作展 第30回記念 鐵心会書展	書	1,080
	5.23～5.26	雪秀会 能面展	諸工芸	430
	6.19～6.23	第29回“竹の会”木版画展	木版画	730
	6.27～6.30	五風会篆刻展	書	780
	7.13～7.16	第5回京都全日本水墨画・俳画・文人画秀作展	水墨画	1,562
	7.30～8.4	京都嵯峨芸術大学 芸術学部造形学科 日本画分野3・4回生展「shu・ha・ri」	日本画	429
	8.22～8.25	「十人十色 百想百舞」栄美子戸田ローブとニューゼファーズ/ヴォーグキルト塾キルト展	諸工芸	1,223
	8.28～9.1	第1回ハクビ和紙ちぎり絵学院京都全国創作展	諸工芸	1,274
	9.5～9.8	上田ミチヨソーイング教室作品発表会	諸工芸	705
	9.11	体験学習(講話)	その他	40
	9.13～9.16	ドールシンフォニーin京都Vol.4	諸工芸	948
	9.19～9.23	書・板倉華游展(万葉集全巻4516首)	書	848
	10.11～10.14	第三十回 龍雲会書展	書	830
	10.17～10.20	関西創玄書道会 創立40周年記念書展	書	1,864
	10.30～11.4	Illustrial A to Z 50+京都嵯峨芸術大学短期大学部イラストレーションOG・OB展	(美術)総合	662
	10.30～11.4	写人	写真	572
	11.1～11.4	第30回草土社人形展	諸工芸	409
	11.1～11.4	京都大学写真部OB会第9回京都展	写真	642
	11.1～11.4	萌葱会染色作品展	染織	468
	11.6～11.10	鳴謝しての二人展	書(水墨)	1,056
	11.14～11.17	第47回心象書展	書	1,770
	1.10～1.13	新春書芸展(沙羅書芸教室)	書	1,243
	1.17～1.26	第26回京都美術文化賞受賞記念展(京都中央信用金庫)	(美術)総合	4,525
	1.30～2.2	滋賀県の博物館・美術館逸品展 美と歴史のおもてなし SHIGA MUSEUM TOUR	(美術)総合	398
	2.11～2.16	京都工芸繊維大学 造形工学課程 卒業制作展2014	(美術)総合	1,848
	2.28～3.2	第27回全国シルバー書道展(京都展)	書	1,656
3.5～3.9	第13回福知山市佐藤太清賞公募美術展	日本画	382	
3.11～3.23	日本画の伝統と未来へ 星星會展 下田義寛・竹内浩一・田淵俊夫・牧進	日本画	3,266	
計30件 使用日数：142日				34,922

	会 期		展 覧 会 名		分 野	入場者数
6階	2013	4.12～ 4.14	絵手紙いいNET 墨・彩・絵手紙を仲間と楽しむ仲間展in京都		水墨画・水彩画	708
		5.11	体験学習(絵付など)		その他	200
		5.15	体験学習(能ワークショップ)		その他	180
		5.16	体験学習		その他	150
		5.22	体験学習(京舞)		その他	100
		5.25	体験学習(京舞)		その他	250
		8. 2～ 8. 4	(公財)片山家能楽・京舞保存財団 第17回 能装束・能面展		(工芸)総合	1,211
		9. 4	体験学習(京舞)		その他	90
		10. 4～ 10. 6	第三回絲織会 吉田手織工房 京都教室作品展		染織	318
		10.16～ 10.17	京都シニア大学 第41回学園文化祭・作品展示会		(美術)総合	473
		10.19～ 10.20	第16回竹心展		書	368
		10.24～ 10.27	井堂雅夫 画業40周年記念展		木版画	4,730
		11.15～ 11.17	第51回龍門社選抜書展		書	1,168
		11.24	京都永楽会 御箏の会		その他	94
		11.30～ 12. 1	宏志会書展		書	463
		12. 7～ 12. 8	いづみ会書展		書	742
		12.21	五色百人一首競技会		その他	400
		1.12	新春 書初展(新見書道教室)		書	527
		2.11～ 2.16	京都工芸繊維大学大学院 デザイン科学専攻・造形工学専攻 修了制作展2014		(美術)総合	1,220
		2.23	京都花会(梅をいける)(日本いけばな懇話会)		その他	1,704
3.16	規矩確立220年記念遠州いけばな展		その他	208		
計21件 使用日数：44日					15,304	

【生涯学習利用分野別件数・入場者数】

	和装 呉服	美 術							工 芸					美術 工芸 総合	総計	
		日本画	洋画	書	写真	その他	美術総合	小計	染織	陶芸・金工・漆	諸工芸	工芸総合	小計			
5階	件数	-	5		9	2	1	4	21	1		8		9		30
	日数	-	33		35	10	1	26	105	4		33		37		142
	人数	-	6,369		11,127	1,214	40	7,433	26,183	468		8,271		8,739		34,922
6階	件数	-	1	1	5		10	2	19	1		1	2		21	
	日数	-	4	3	10		10	8	35	3		3	6		41	
	人数	-	4,730	708	3,268		3,376	1,693	13,775	318		1,211	1,529		15,304	

※6階「その他」は体験学習、邦楽演奏会、華展等。

4) 一般の利用

5階展示室及び6階展示室は美術・工芸作品の展示会などの他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市などの会場としても利用されている。

【一般利用分野別件数・入場者数】

場所		和装呉服	染織	美術	工芸	その他	計
5階	件数	2	-	-	2	1	5
	日数	4	-	-	5	3	12
	人数	1,455	-	-	2,870	300	4,625
6階	件数	12	-	-	1	-	13
	日数	22	-	-	3	-	25
	人数	2,050	-	-	672	-	2,722

*美術：日本画、洋画、書、写真など
*工芸：陶芸、金工、竹工、漆芸、諸工芸など

VI-2 別館ホール

旧日本銀行京都支店(重要文化財)の営業室であった別館ホールは、通常は明治時代の代表的な洋風近代建築の内部を公開しているが、一方で多目的ホールとしての機能も持っている。特別展の開会式やレセプション、音楽会など館主催の事業に使用するとともに、貸

会場として展覧会や音楽会、企業の展示会等の商業催事から結婚式まで様々な催事の利用に供している。

また三条ウッドデッキではアートイベントなどの利用も増えてきている。

【別館利用状況一覧】

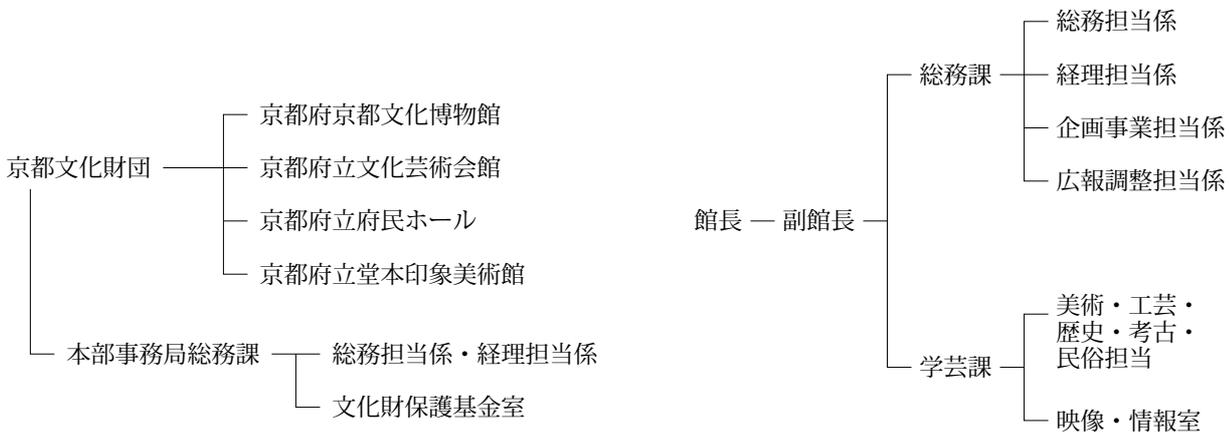
会期	展覧会・音楽会名	会期	展覧会・音楽会名
2013.		6.29	ウエディング
4. 3～	2013年春むす美展	7. 6	京都フランス歌曲協会100回記念コンサート ～ブランク没後50年を記念して～
4. 7	詩人と歌曲 第1回～ヴィクトル・ユゴーによせて～	7. 7	千綿偉功/松ヶ下宏之 チワガシタヒデユキ 七夕Special～天の川で逢いましょう～
4.10	エフゲニ・ザラフィアンツ ピアノコンサート	7. 9	きょうと金管五重奏団演奏会
4.14	<講義室> 京都グラフィー国際写真フェスティバル・ワークショップ	7.11	京都フィルハーモニー室内合奏団 室内楽コンサートシリーズvol.42「知られざる名曲」
4.20	<講義室> 京都グラフィー国際写真フェスティバル・ワークショップ	7.14～	7.15 祇園祭ミュージアムコンサート
4.27	<講義室>便利堂総会	7.16	同志社女子大学音楽専攻科生による特別展 「八重の桜」記念コンサート
4.28	<講義室> 京都グラフィー国際写真フェスティバル・ワークショップ	7.16	第24回宵山に箏曲を聴く夕べ
4.12～	5. 6 京都グラフィー国際写真フェスティバル	7.14～	7.17 <三条ウッドデッキ>ぶんぱくアートマルシェ
5. 3	<講義室> 京都グラフィー国際写真フェスティバル・ワークショップ	7.19	日下部佑子・佐竹祐介デュオ・コンサート
5. 4	京都グラフィー国際写真フェスティバル・コンサート	7.20	新世紀映画「弥勒MIROKU」フィルムオーケストラver.
5. 5	<講義室> 京都グラフィー国際写真フェスティバル・ワークショップ	7.21	京都C.モンテヴェルディ合唱団 第50回定期演奏会
5.11	富山みずえ&つのだたかしリユートソングコンサート	7.24	ハトヤ会レセプション
5.12	アルケミスター夢の貨物列車ー 童謡コンサート「明星」in京都文化博物館	7.24	<講義室>ハトヤ会総会
5.15	体験学習(舞妓)	7.26	五人展
5.18	西垣正信バッハリサイタル	7.27	パリからの風～オーボエとピアノによるモーリス・ラヴェル 旅する長崎学講座 「日韓交流の架け橋・対馬～朝鮮通信使から学ぶもの～」
5.19	Trio Youオカリナコンサート	8. 3	La porta del barocco ～バロックの扉～
5.20～	5.29 エラート国際音楽学生フェスティバル・リハーサル利用	8. 4	Felix室内合奏団 第25回定期演奏会
5.30	京都フィルハーモニー室内合奏団 室内楽コンサートシリーズvol.37「近・現代の室内楽」	8. 6	KABUインターナショナル
6. 2	うたの会2013	8.10	京都アートフリーマーケット説明会
6. 2	<講義室>OB会総会	8.12	ロームミュージックファンデーション 奨学生コンサートvol.1
6. 8	ORBLYE 3rd Live	8.17～	8.18 <三条ウッドデッキ>ぶんぱくアートマルシェ
6. 9	御所南ヴァイオリンスクール 初夏のコンサート	8.24	micoクラシカル・クロスオーバーコンサート Be My Guest !
6.12～	6.14 群言堂 2013秋・冬物展示会	8.25	α-Station Live
6.15	WISHゴスペルコンサート ～Why We Sing?...Glory Hallelujah!～	8.28	京都フィルハーモニー室内合奏団 室内楽コンサートシリーズvol.43「フレンチはいかが？」
6.16	バッハアカデミー関西 教会暦によるカンタータシリーズ第38回	8.29	ロームミュージックファンデーション 奨学生コンサートvol.2
6.20	ジャズ&ボサノバ アーリーサマーナイト	8.31	第14回夏のひととき
6.21	PARASOPHIA京都国際現代芸術祭2015 オープンリサーチプログラム リピット水田堯「猫と犬のように一映画とカタストロフ」	9. 1	トランペット音楽会
6.22	翔ユリ子チャンソンコンサート「あじさいの季」	9. 6	PARASOPHIA京都国際現代芸術祭2015 オープンリサーチプログラム03 「ドミニク・ゴンザレス=フォルステルによるレクチャー」
6.22	<講義室>アートフリーマーケット抽選会	9. 7	深澤芳美&キャロライナシャウト2013 Jazz in Kyoto
6.23	小島燎研究発表的独演会其の四	9. 8	JAZZ at Sanjo vol.12
6.28	第20回光の音符主催講演 オルガンとリコーダーで辿る「懐かしい時間への旅」	9.14	Alma Flamenca 2013 con Jerezan
6.29	第31回レトワールブランシェ管楽合奏団演奏会 ～ペール・ギユント～	9.15	日本のコンテンポラリージュエリーを語る
6.29	<講義室>世界遺産研究会	9.16	～サクソ・ピアノ・書～ライブパフォーマンス 書と音
		9.21～	9.23 京都アートフリーマーケット2013秋

会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
9.26	Old American Pops Autumn night Dream	12.15	シューベルツ.COM CD発売記念LIVE「おまっとうさん、京都！」
9.28～	9.29 <三条ウッドデッキ>ぶんぱくアートマルシェ	12.16	Let's joyful tonight 第1日
9.28	彩と響コンサート	12.17	Let's joyful tonight 第2日
9.28	<講義室>世界遺産研究会	12.18	プレス Christmas Night 2013
10. 2	京美山Live	12.19	光の音符「JICA草の根技術協力事業」終了報告会&スペシャルコンサート～インドのスラムの子ども達と過ごした3年間の軌跡～
10. 5	第6回 健康塾	12.20	ポリフォニー音楽の巨匠 ローランド・デ・ラッススの世界
10. 6	Music of Heart Vol.3	12.21～	12.23 <三条ウッドデッキ>ぶんぱくアートマルシェ
10. 7	京美山Live	12.22	2013CHRISTMAS CONCERT
10. 8	<講義室>日本工芸会近畿支部	12.23	THE GIFT BOX
10.10～	10.19 デコラティブペイント展-創造する秋-	2014. 1.10	ヘニング・シュミット ジャパンツアー2014
10.12～	10.14 <三条ウッドデッキ>ぶんぱくアートマルシェ	1.11	京都C.モンテヴェルディ合唱団 第51回定期演奏会
10.13	出口武門下生による声楽コンサートVol.18	1.12～	1.13 <三条ウッドデッキ>ぶんぱくアートマルシェ
10.14	開館25周年記念京都文化博物館オータムフェスティバル	1.13	京都音楽劇団合同公演～ ミュージカル・落語・朗読・ファッションショー～
10.16～	10.19 むす美・ふろしきコレクション"Message"	1.18～	1.19 第6回JEUZIAミュージックサロン四条管弦発表会
10.22	シャンソン歌舞伎	2. 6	<講義室>日本工芸会近畿支部
10.26	歌の花束	2. 8	<講義室>アートフリーマーケット説明会
11. 1～	11. 3 KPA「メイキング・ワークショップ2014」	2.11～	2.16 京都工芸繊維大学大学院建築学専攻 修了制作展
11. 4	岩成玲子チェンバロコンサート	2.20	成安造形大学ファッションショー SEIAN collection 2014
11. 5～	11. 7 貴久樹 天竺展	2.22～	2.23 2月23日「ふろしきつつみの日」イベント 京をつつむ
11. 9～	11.10 着物二恋スル季節展	2.22～	2.23 <三条ウッドデッキ>ぶんぱくアートマルシェ
11.15～	11.17 第15回佐々木真弓・アトリエエンジェル スタンドグラスランプ展	2.27	京都光華女子大学短期大学部 ライフデザイン学科学生による模擬結婚式
11.16	<講義室>日本工芸会近畿支部講演会	3. 1～	3. 2 島々の染と織 京都とインドネシア
11.20～	11.24 「十人十色」ガラスの展覧会Vol.2～京都秋色～	3. 6～	3. 7 JCMR KYOTO vol.8「石井真木+衣福部昭一東と西の響きと時一」
11.23～	11.24 <三条ウッドデッキ>ぶんぱくアートマルシェ	3. 8	ウエディング
11.26～	11.27 第85回詠友禅染競技会/第85回詠友禅見本展	3. 9	染織光悦會展
11.29	ソレイユ・ルヴァン～植野真知子と仲間たち～	3.11	3.11東北震災復興支援コンサート
11.30	至福のバツハ	3.14～	3.16 スタンドグラスアート展
11.30～	12. 1 被災地カントリーマルシェ	3.18	民音音楽博物館レクチャーコンサート 「印象派というアート・シーン その音楽と色彩」
12. 1	合唱団Aleph演奏会	3.21～	3.23 京都アートフリーマーケット2014春
12. 4	京都トランペットグループ Summer Breeze Voi.13 WINTER LANDSCAPE	3.24	プライダル展示会
12. 5	京都フィルハーモニー室内合奏団 室内楽コンサートシリーズvol.44「バロック・古典派の室内楽」	3.29～	3.30 <三条ウッドデッキ>ぶんぱくアートマルシェ
12. 6	平成25年度京都映画企画市	3.29	アンサンブル・アワーズ 10周年記念コンサート
12. 7	ジャン・コクトー没後50年記念「コクトーと仲間たち」	3.30	音楽を紡ぐ～バツハ平均律の世界～ 第1回平均律クラヴィーア曲集第1巻全曲演奏会24人24色
12. 8	こどもと楽しむクラシックコンサート2013 ～クリスマスおとのプレゼント～		
12.12	JoyfulBellsハンドベルコンサート		
12.13	西垣正信クリスマスコンサート		
12.14	立命館大学映画部上映会「佛教徒!!」		
			入場者数 計 148,631人

VII 管理・運営

VII-1 組織と職員

1) 組織



※総務担当係及び経理担当係は京都文化財団本部総務課を兼ねる。

2) 京都文化財団

【京都文化財団役員名簿】

2014年(平成26年)3月31日現在

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
顧問	山田 啓二	京都府知事	理事	並木 誠士	京都工芸繊維大学大学院教授、美術工芸資料館館長
理事長	千 玄室	前茶道裏千家家元、前京都文化財団副理事長		平林 幸子	京都中央信用金庫専務理事
	荒巻 禎一	前京都府知事、京都文化博物館館長		深尾 憲一	弁護士
副理事長	山内 修一	京都府副知事	吉田 忠嗣	吉忠株式会社代表取締役社長	
常務理事	神山 俊昭	京都文化博物館副館長	監事	岡田 博邦	前一般社団法人京都銀行協会専務理事
理事	小林 正幸	京都銀行常務取締役		光田 周史	公認会計士
	高階絵里加	京都大学人文科学研究所准教授			

【京都文化財団評議員名簿】

2014年(平成26年)3月31日現在

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
評議員会長	村井 康彦	前公益財団法人京都市芸術文化協会理事長	評議員	金剛 永謹	金剛流宗家
評議員	有馬 頼底	臨濟宗相国寺派管長		田中 恆清	石清水八幡宮宮司
	池坊 由紀	華道家元池坊次期家元		鶴田 憲次	洋画家
	今井 政之	陶芸家		名和 修	公益財団法人陽明文庫理事、文庫長
	岩淵龍太郎	京都市立芸術大学名誉教授		野中 信夫	元NPO MCEI専務理事
	上村 淳之	日本画家		日比野光鳳	書家
	大橋 通夫	前京都府教育委員会委員長		増田 正蔵	京都新聞社相談役
	奥原 恒興	京都商工会議所専務理事		山本 壯太	「古典の日」推進委員会ゼネラルプロデューサー
	神林 恒道	大阪大学名誉教授		冷泉 為人	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫理事長

3) 京都文化博物館

【京都文化博物館職員名簿】

2014年(平成26年)3月31日現在

所 属	職 名	氏 名	担 当 業 務	備 考
	館長	荒巻 禎一	館総括	財団理事長 2003.6～
	副館長	神山 俊昭	館業務総括	事務局長 2011.4～ 財団常務理事 2011.6～
総務課	課長	下河邊英寿	課総括	財団本部事務局兼務 2012.4～
	課長補佐兼総務担当係長	佐藤 幸央	総務担当業務	財団本部事務局兼務 1991.4～
	經理担当係長	宮本 幸樹	經理担当業務	財団本部事務局兼務 2012.3～
	課長補佐兼企画事業担当係長	森 雅樹	企画事業担当業務	1992.5～
	広報調整担当係長	磯野眞知子	広報調整担当業務	2011.4～
	主任	杉浦美香代	総務担当業務	財団本部事務局兼務 2010.5～
	主任	高桑 鉄則	企画事業担当業務	2007.4～
	主事	奥田 紀子	經理担当業務	財団本部事務局兼務 2007.7～
	囑託	竹内 文香	企画事業担当業務	2012.4～
保護基金室	文化財保護基金室長	下河邊英寿	基金事業担当業務	文化財保護基金室長事務取扱(2013.4～)
学芸課	課長	畑 智子	課総括	2006.6～
	課長補佐 学習普及・連携室長 主任学芸員	洲鎌佐智子	工芸	1988.5～
	課長補佐 映像・情報室長 主任学芸員	森脇 清隆	映像・情報	1990.7～
	学芸員	林 智子	染織	2008.10～
	学芸員	植田彩芳子	絵画	2010.8～
	学芸員	西山 剛	歴史・文献	2010.8～
	学芸員	村野 正景	歴史・考古	2011.4～
	学芸員	橋本 章	民俗	2011.10～
	学芸員	森 道彦	絵画	2012.4～
	学芸員	長村 祥知	歴史・文献	2012.6～
	主査	植山 茂	考古・民俗	1986.10～
	囑託	大矢 敦子	映像・情報	2011.10～
	囑託	青木 完一	映像	非常勤 2003.4～

VII-2 施設

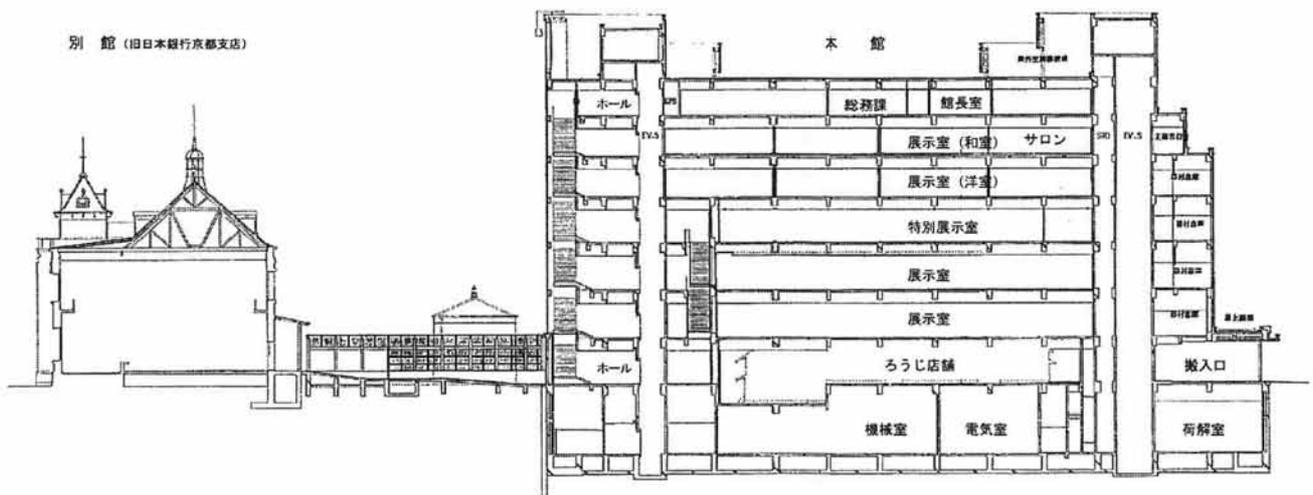
1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1
 設計：京都府土木建築部営繕課・株式会社久米建築事務所
 施工期間：1986年10月～1988年9月
 2010年12月～2011年7月(リニューアル工事実施)
 敷地面積：4,790.3㎡(別館を含む)
 建築面積：3,646.5㎡(別館を含む)
 延床面積：15,854.7㎡(別館を含む)
 本館床面積内訳：
 地階……2,242.4㎡／1階……2,244.9㎡
 2階……1,892.9㎡／3階……1,908.8㎡
 4階……1,442.2㎡／5階……1,442.2㎡
 6階……1,218.3㎡／7階……1,010.4㎡
 塔屋……182.9㎡
 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造／一部鉄骨造

2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル菱屋町48番地
 設計：辰野金吾・長野宇平治
 施工期間：1903(明治36)年9月～1906(明治39)年6月
 延床面積：2,269.7㎡
 別館構造：建築面積……819.7㎡
 煉瓦造、2階建一部地下1階
 スレート・銅板葺、両翼塔屋付
 旧金庫構造：建築面積……237.1㎡
 煉瓦造、1階建、棧瓦葺
 指定：重要文化財
 指定名称 旧日本銀行京都支店
 指定年月日 1969年3月12日
 指定書番号 建第1,708号

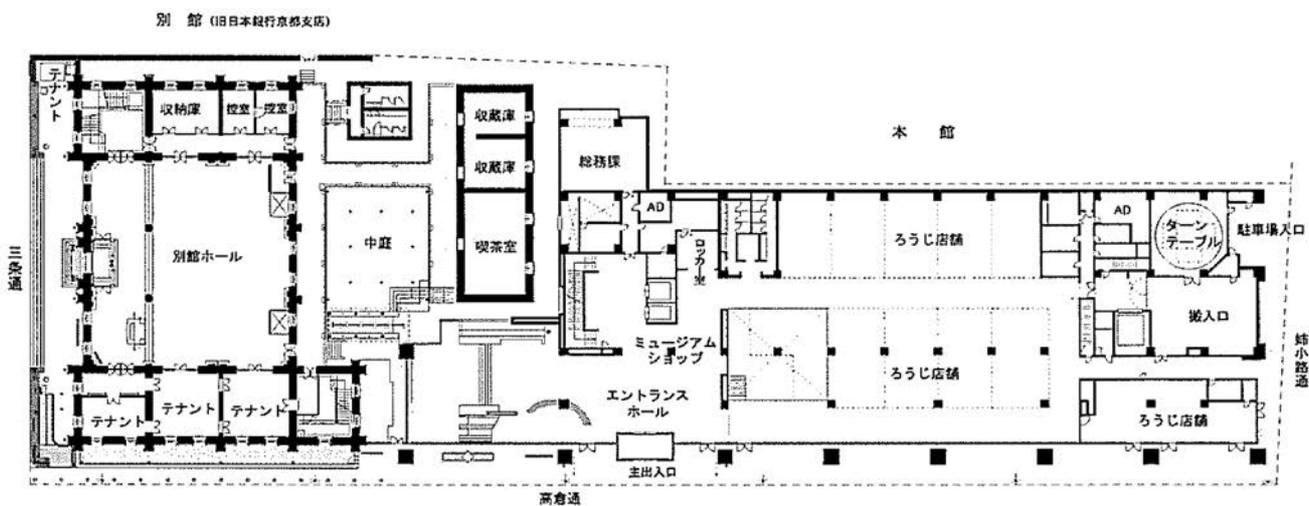
【京都文化博物館断面図】



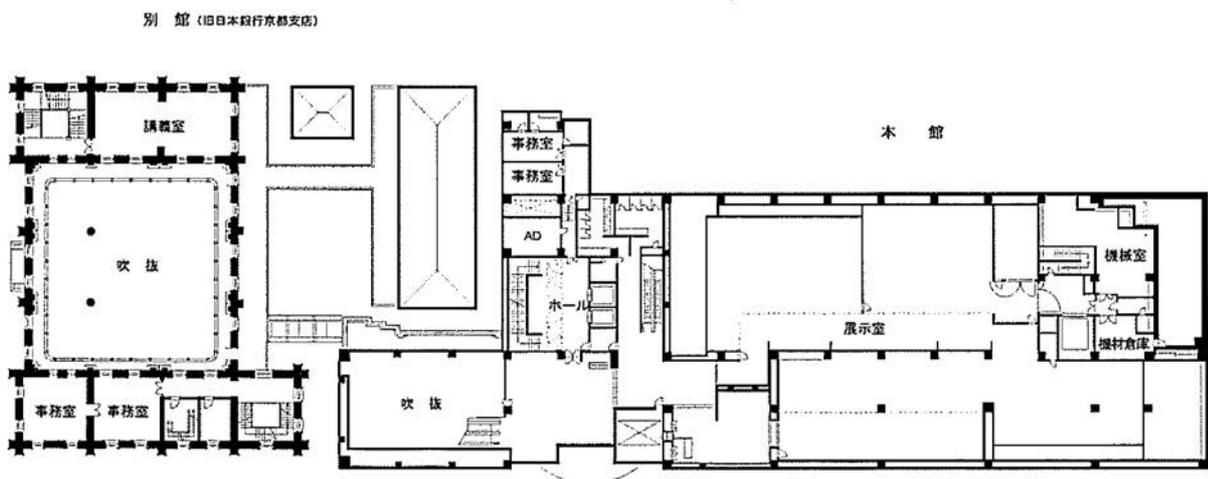
【京都文化博物館 地下1階平面図】



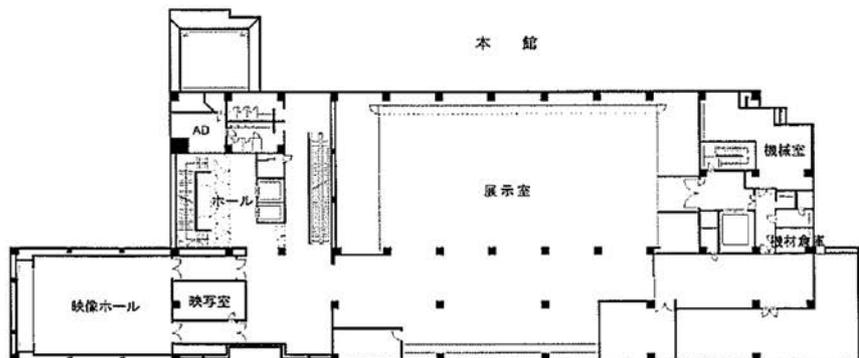
【京都文化博物館 1階平面図】



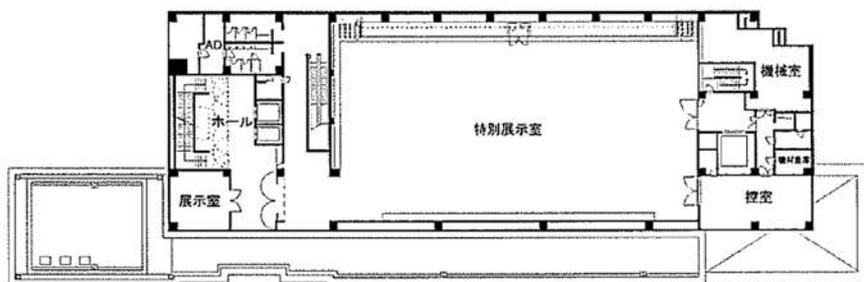
【京都文化博物館 2階平面図】



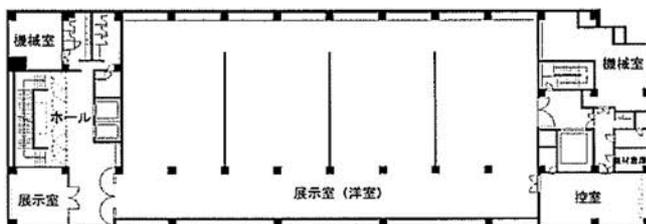
【京都文化博物館 3階平面図】



【京都文化博物館 4階平面図】



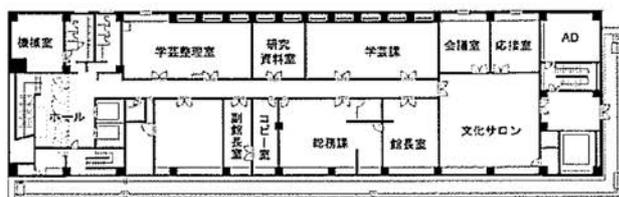
【京都文化博物館 5階平面図】



【京都文化博物館 6階平面図】



【京都文化博物館 7階平面図】



VII-3 館内店舗

1) ろうじ店舗

「ろうじ店舗」は本館1階にあり、江戸時代末期の京町家の外観を復元したものである。高倉通側には京料理などの飲食店、西側の路地には京物と呼ばれる伝統工芸品や土産物を扱う物販店が営業している。また、ろうじ店舗各店で作る「ろうじ店舗博和会」は当館の協会として催しにあわせて積極的に活動している。本年度のろうじ店舗利用者は149,589人であった。

【ろうじ店舗一覧】

◇和紙の店—楽紙館

◇京都和雑貨—菰軒

◇京のエッセンス16舗名店会(順不同)

香老舗—松榮堂

京麩—半兵衛麩

京念珠—福永念珠舗

京菓子—鼓月

京佃煮—野村

宇治茶—福寿園

京扇子—とくの

京象嵌—川人象嵌

八ツ橋—井筒八ツ橋

京の額—古澤仙壽堂

京風雅便箋—表現社

野菜せんべい—京煎堂

ちりめん小物—くろちく

京つけもの—西利

竹の匠—高野竹工 町屋手拭—永楽屋細辻伊兵衛商店

◇町家料理 鳥彌三あざみ(平成25年12月8日閉店)

◇手打ちそば・蕎麦料理—有喜屋

◇和カフェ 京美山

◇エスプレッソコーヒー—コロラドコーヒー(平成25年7月31日閉店)

◇京・嵐山上流の蔵—京丹山

◇ミュージアムショップ—便利堂

2) 別館店舗

【別館店舗一覧】

◇珈琲サロン—阿蘭陀館(平成25年7月31日閉店)

◇前田珈琲文博店(平成26年2月4日開店)

◇Contemporary Art JARFO京・文博

◇アートギャラリー arton art gallery

◇和小物—くろちく

3) 博和会・ろうじ行事

【博和会行事】

区 分	名 称	月 日
ろうじ祭	春季来客者増大キャンペーン(マチュピチュ『発見』100年 インカ帝国展)	2013年4月16日～4月29日
	オータムフェスティバルキャンペーン	2013年9月20日～10月13日
	京都文化博物館開館25周年記念オータムフェスティバル	2013年10月14日

VIII 2013(平成25)年度 のあゆみ

※事項欄の「FT」はフィルムシアター、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室の略

月 日	事 項	
2013年		
4月 2日	常設上映「映画にみる美男子の魅力 現代劇篇」	(～4月29日/FT)
4月 3日	総合展示「京都府寄託記念 丸紅コレクション名品展」	(～5月16日/2階)
4月16日	「インカ帝国展 マチュピチュ「発見」100年」開催	(～6月23日/4・3階)
4月18日	総合展示「祇園祭―鈴鹿山の名宝―」	(～6月30日/2階)
5月 2日	常設上映「特撮魂! 映画職人の夢と汗」	(～6月2日/FT)
5月21日	総合展示「伝統と創生―京都府無形文化財保持者による―」	(～7月21日/2階)
6月 4日	常設上映「追悼 三國連太郎特集上映」	(～6月23日/FT)
6月25日	常設上映「特別展『八重の桜』開催記念プレ上映」	(～6月30日/FT)
7月 2日	〈クールスポット〉の実施(2階総合展示・3階フィルムシアター無料公開)	(～9月1日)
7月 2日	常設上映「映画に見る美男子の魅力 時代劇篇」	(～8月7日/FT)
7月 4日	総合展示「祇園祭―山鉦巡行の歴史と文化―」	(～7月28日/2階)
7月13日	「NHK大河ドラマ特別展 八重の桜」開催	(～9月1日/4・3階)
7月14日	祇園祭ミュージアムコンサート―音楽の玉手箱―	(～15日/AH)
7月15日	祇園祭記念特別上映「祇園祭」	(～7月17日/FT)
7月16日	同志社女子大学音楽専攻科生による特別展「八重の桜」記念コンサート	(AH)
7月16日	第24回宵山に箏曲を聴く夕べ	(AH)
7月19日	『彌勒 MIROKU』完成記念 林海象監督作品上映「夢見るように眠りたい」	(～20日/FT)
7月26日	総合展示「京名所風俗図の世界」	(～9月16日/2階)
7月30日	総合展示「細川家 永青文庫5 描かれる日本のすがた」	(～9月8日/2階)
8月 1日	ぶんぱく子ども教室 第1回「夏休み! ぶんぱく京力隊講座～“お宝”調査隊～」	(館内)
8月 1日	総合展示「祇園祭―綾傘鉦の名宝―」	(～10月14日/2階)
8月 3日	ぶんぱく子ども教室 第2回「館内ぐるぐる探検ツアー」	(イベントボランティア/館内)
8月 5日	博物館実習	(～8月9日)
8月 9日	第19回京都国際子ども映画祭	(～8月11日/FT)
8月11日	ぶんぱく子ども教室 第3回「夏だ! 納涼! 自分だけのステキな“うちわ”をつくろう」	(2階作業室)
8月12日	常設上映「映画女優 高峰秀子を再考する」	(～9月29日/FT)
8月24日	ぶんぱく子ども教室 第4回「光のアートワークショップ あんどんに絵を描いて夜の姉小路に並べてみよう!」	(AH)
8月24日	映画の復元と保存に関するワークショップ作品上映	(～25日/FT)
9月 1日	友の会見学会「京都名所散策シリーズ ～『都名所図会』を読み解く～」③	(館外)
9月12日	「京都文化博物館開館25周年記念・京都府立総合資料館開館50周年記念 京都・美のタイムカプセル」開催	(～12月1日/4・3階)
9月14日	総合展示「近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝3」	(～10月27日/2階)
9月14日	「京都映画若手育成ラボ」京都映画・映像企画市」関係者向け撮影報告会	(FT)
9月14日	シネマカレッジ京都スクリーニングセッション 京都と映画を受け継ぐ	(FT)
9月21日	京都アートフリーマーケット2013秋	(～23日/AH他)
9月23日	総合展示「京都府蔵池大雅美術館コレクション 池大雅―「柳下童子図屏風」と四君子図の世界―」	(～11月4日/2階)
10月 1日	常設上映「京都 きもの 映画 映画に見るきもの文化」	(～10月31日/FT)
10月 8日	『父のこころ』内覧試写会	(～11月29日/FT)
10月12日	「あなたもCMディレクターになれる!」スマートフォンによる映像製作ワークショップ	(AL)
10月14日	開館25周年記念 京都文化博物館オータムフェスティバル	(10月14日/AH)
10月18日	総合展示「祇園祭―占出山の名宝―」	(～1月5日/2階)
11月 1日	朽木村針畑の生活記録『ワキノタン』上映会	(FT)
11月 1日	常設上映「新選組生誕150周年記念―幕末京都と新選組」	(～11月29日/FT)

※事項欄の「FT」はフィルムシアター、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室の略

月 日	事 項	
11月 2日	総合展示「近代の京友禅」	(～1月19日/2階)
11月 4日	第1回京まちなか映画祭	(～11月10日/FT)
11月 9日	総合展示「羅城門の記憶—模型の楽しみ方3—」	(～2月2日/2階)
11月10日	ぶんぱく子ども教室 第5回「ぶんぱく子ども展覧会」	(2階作業室)
11月14日	第1回京都映像フォーラム 上映とシンポジウム	(～11月17日/FT)
11月24日	ぶんぱく子ども教室 第6回「作った! 入った! 竹のけん玉」	(別館講義室)
11月29日	映画テレビ技術協会京都支部 受賞作品を見る会	(FT)
11月30日	第5回京都ヒストリカ国際映画祭	(～12月8日/FT)
12月 6日	第6回京都映画若手才能育成ラボ (Kyoto Filmmakers Lab 2013)	(～12月12日/館外)
12月 7日	友の会見学会「京都名所散策シリーズ ～『都名所図会』を読み解く～」④	(館外)
12月10日	常設上映「俳優 池部良 特集上映」	(～12月27日/FT)
12月22日	「生誕100年 佐藤太清展」開催	(～2月9日/4・3階)
2014年		
1月 4日	常設上映「生誕100年記念 早坂文雄の映画音楽世界」	(～2月2日/FT)
1月12日	ぶんぱく子ども教室 第7回「画家さんといっしょに、日本画を描こう!」	(AL)
1月18日	総合展示「祇園祭—太子山の名宝—」	(～3月30日/2階)
1月18日	ぶんぱく子ども教室 第8回「京都の色はどんな色? 土で絵の具を作ってみよう!」	(2階作業室)
1月25日	「京都府美術工芸新鋭展～京都国際現代芸術祭2015への道～」開催	(～2月9日/4階)
1月25日	総合展示「雛人形名品展」	(～3月28日/2階)
1月26日	大島渚監督一周忌・追悼イベント	(FT)
2月 4日	常設上映「宝塚歌劇100周年 宝塚歌劇女優と映画」	(～3月2日/FT)
2月 9日	ぶんぱく子ども教室 第9回「餅・もちワークショップ」	(AHデッキ)
2月11日	総合展示「細川家 永青文庫コレクション6 南北朝・室町時代の武家文書」	(～3月23日/2階)
2月16日	ぶんぱく子ども教室 第10回「ぶんぱくでひな祭り～おひな様のお話と工作～」	(2階作業室)
3月 1日	ぶんぱく子ども教室 第11回「昔の”お手紙”体験」	(2階作業室)
3月 1日	「夢を生きる～テイラーアンダーソン物語」上映会	(FT)
3月 1日	ぶんぱく青春映画祭 ヨリ道ノススメ3	(～3月30日/FT)
3月 9日	おもしろ映像製作ワークショップ2014	(15・16日/AL)
3月15日	友の会 文化講座「こもんじょ友の会」	(2階作業室)
3月21日	京都アートフリーマーケット2014春	(～23日/AH他)
3月22日	「撮影監督宮川一夫コレクションの保存とデジタル化の試み」講演会とディスカッション	(FT)

京都文化博物館2013(平成25)年度年報

発行日 2014年10月31日

編集・発行 京都府京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL：075-222-0888
FAX：075-222-0889

印刷 三星商事印刷株式会社
〒604-0093 京都市中京区新町通
竹屋町下ル弁財天町300
TEL：075-256-0961(代)